

平成 27 年度「福島県の情報教育の実態等に関する調査」結果

福島県教育センター

I 調査の目的・内容

この調査は、情報機器を活用した学習指導の推進と当教育センターの情報教育に関する研究の充実及び講座内容の改善を図るため、県内の公立学校における情報教育の実態等を把握するためのものである。

具体的には、「ICT の活用状況」、「学校 Web サイト」、「児童生徒のインターネット利用」、「情報モラル」、「個人情報保護及び情報セキュリティ」、「教員用コンピュータの校内ネットワーク環境」等について調査した。なお、平成 23 年度と平成 24 年度の調査は、東日本大震災の影響により実施していない。

II 調査の方法

1 対象

休業校等を除いた本県の公立小学校 449 校、中学校 224 校、高等学校 88 校、特別支援学校 15 校、計 776 校を対象として実施し、回答率は 100%であった。

2 実施期間

平成 27 年 4 月 21 日（火）～5 月 22 日（金）

III 調査結果

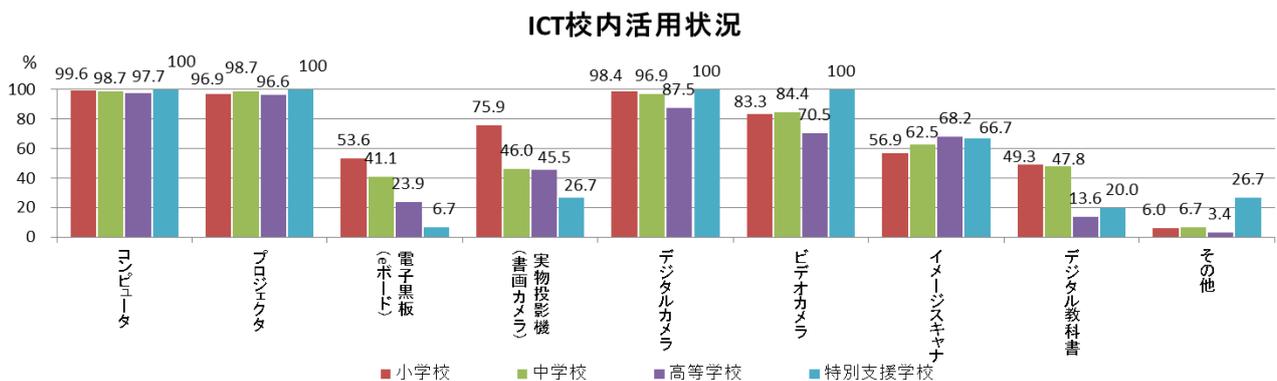
1 ICT の活用状況について

(1) 学校内においてどのICT機器・教具を活用しましたか。（複数回答可）

ア コンピュータ イ プロジェクタ ウ 電子黒板（eボード）

エ 実物投影機（書画カメラ） オ デジタルカメラ カ ビデオカメラ

キ イメージスキャナ ク デジタル教科書 ケ その他



全校種において「コンピュータ」、「プロジェクタ」、「デジタルカメラ」、「ビデオカメラ」の活用割合が高い。また、小学校では「実物投影機」の活用割合が増えている。

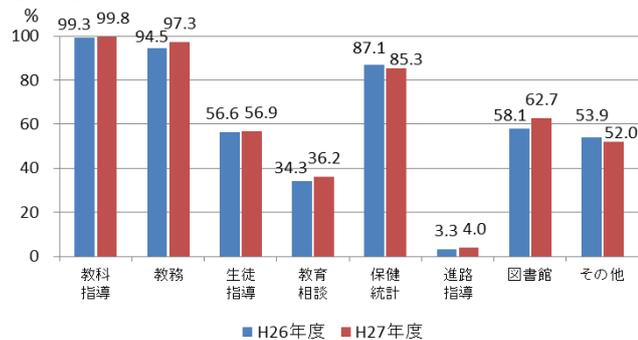
(参考) 平成 26 年度 ICT 校内活用状況（小学校：実物投影機 71.0%）

(2)① 学校内においてICT機器をどのような校務で活用しましたか。(複数回答可)

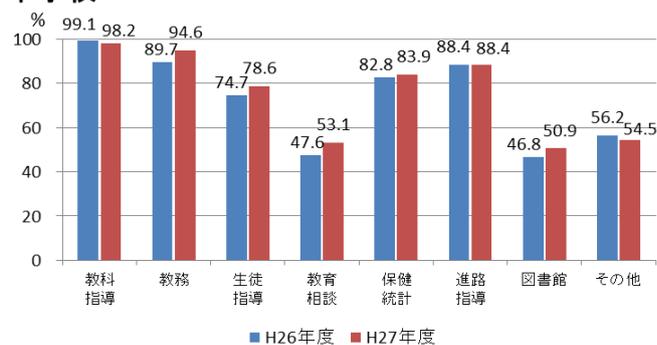
(注) 成績処理は「イ 教務関係」に、スポーツテストのデータ処理は「オ 保健統計関係」に含めてください。

- ア 教科指導関係 イ 教務関係 ウ 生徒指導関係 エ 教育相談関係
 オ 保健統計関係 カ 進路指導関係 キ 図書館関係 ク その他の事務関係

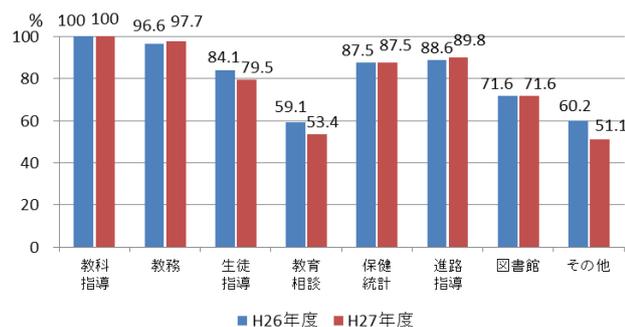
小学校



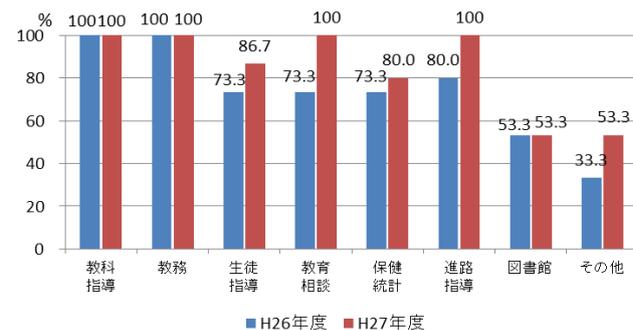
中学校



高等学校



特別支援学校

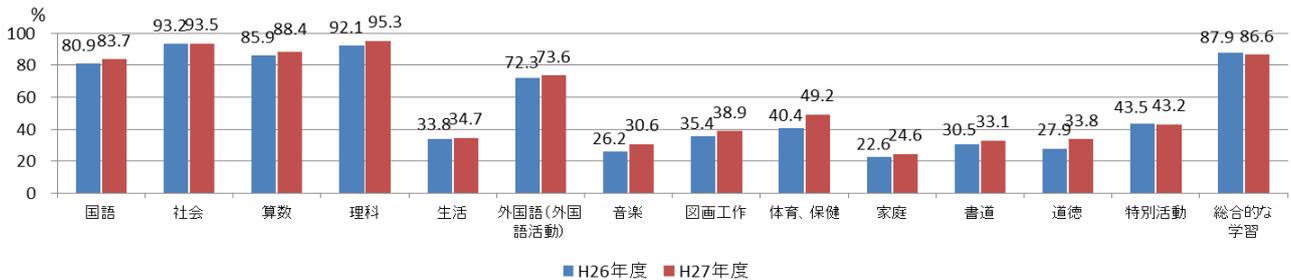


各校種において「教科指導」、「教務」の活用割合が高い。また、特別支援学校では「生徒指導」、「教育相談」、「進路指導」による活用が増加している。

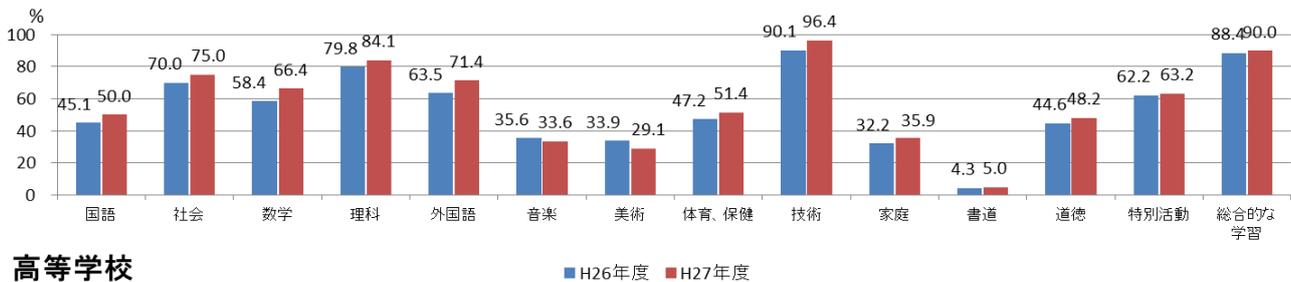
(2)② ①で「ア 教科指導関係」を選択した学校のみ、お答えください。ICT 機器・教具を活用した授業を
実践した教科（科目）等はどれですか。（複数回答可）

- ア 国語 イ 社会、地理歴史・公民 ウ 算数、数学 エ 理科 オ 生活
カ 外国語（外国語活動） キ 音楽 ク 図画工作、美術、工芸 ケ 体育、保健体育
コ 技術、情報 サ 家庭 シ 書道 ス 道徳 セ 特別活動
ソ 総合的な学習の時間 タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科

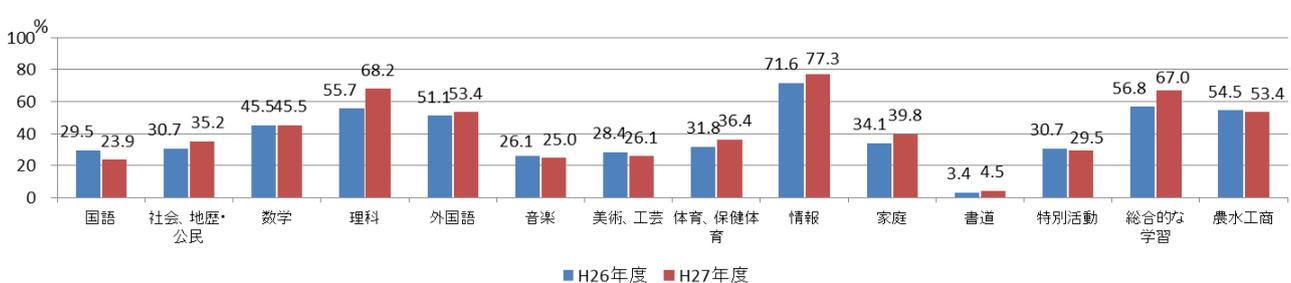
小学校



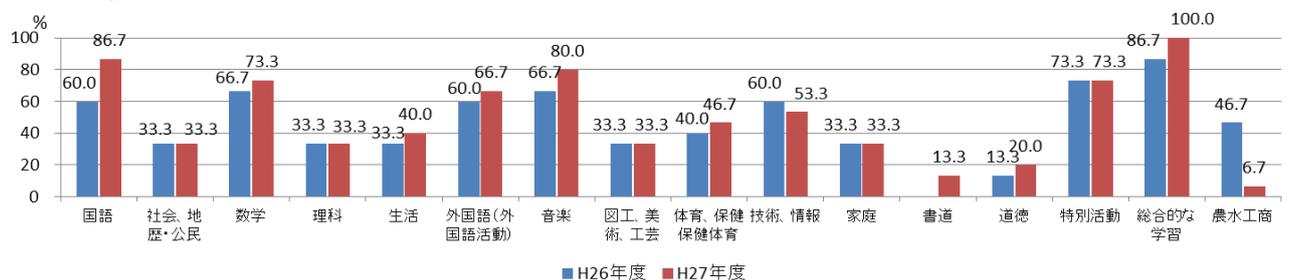
中学校



高等学校



特別支援学校



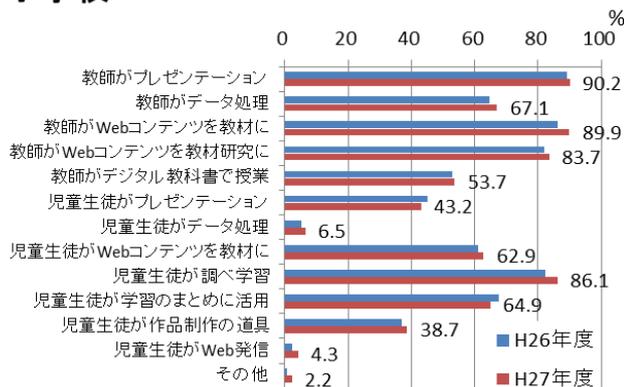
全校種とも各教科（科目）においてICT機器・教具の活用が進められている。特に小学校，中学校では高等学校と比較して、「国語」，「社会」，「算数，数学」，「理科」，「外国語」での活用が高い。

(2)③ ①で「ア 教科指導関係」を選択した学校のみ、お答えください。ICT機器・教具をどのような方法で活用しましたか。(複数回答可)

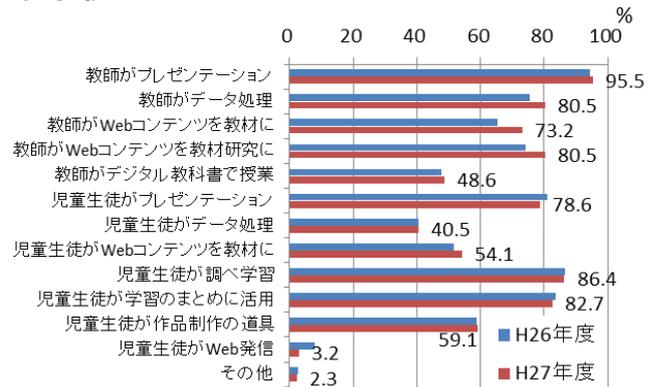
(注) Web コンテンツとは、インターネットのWeb サイト(ホームページ)上の内容を指します。

- ア 教師が、プレゼンテーション(提示)を行った
- イ 教師が、データ処理や計測機器として活用した
- ウ 教師が、Webコンテンツを教材として活用した
- エ 教師が、教材研究にWebコンテンツを活用した
- オ 教師が、デジタル教科書で授業を行った
- カ 児童生徒に、プレゼンテーション(発表)をさせた
- キ 児童生徒に、データ処理や計測機器として活用させた
- ク 児童生徒に、Webコンテンツを教材として活用させた
- ケ 児童生徒に、調べ学習をさせた
- コ 児童生徒に、調べたことや学んだことをまとめさせた
- サ 児童生徒に、作品制作の道具として活用させた
- シ 児童生徒に、Webを通して学習成果を発信させた
- ス その他

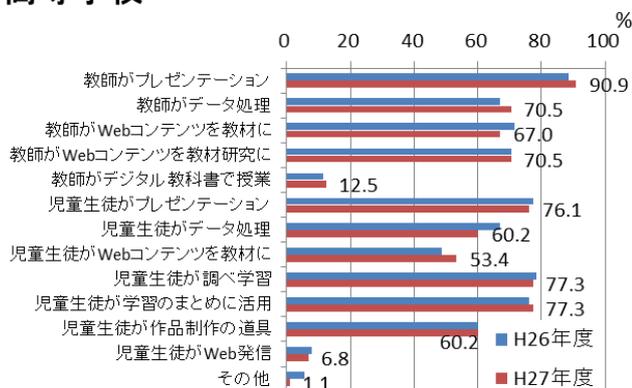
小学校



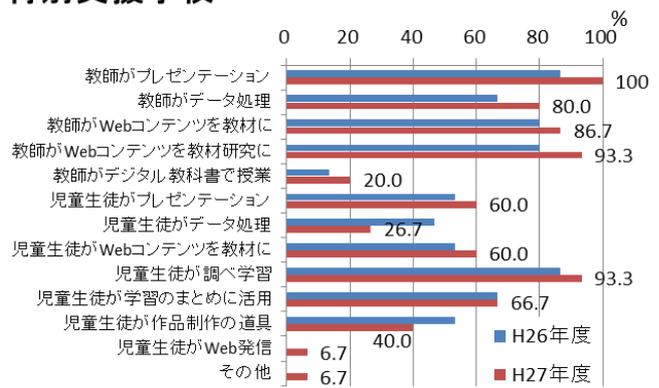
中学校



高等学校



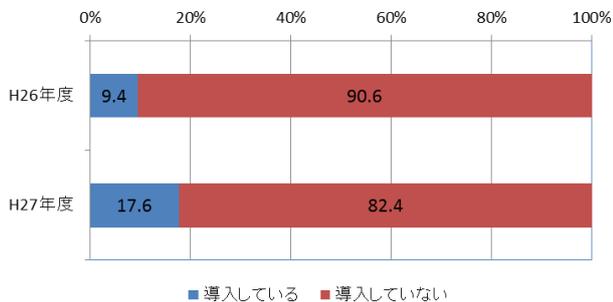
特別支援学校



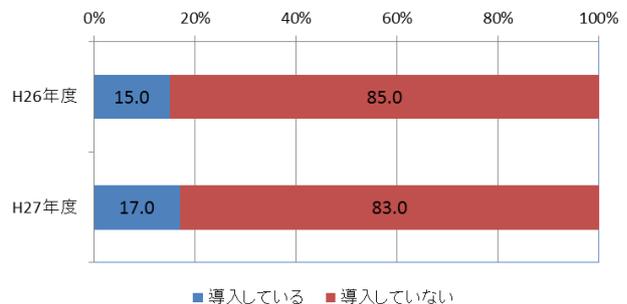
前年度結果と比較すると、全校種とも教師による「プレゼンテーション」、「データ処理」、「Web コンテンツの利用」等の活用が増えている。

(3)① タブレット端末を導入していますか。
ア 導入している イ 導入していない

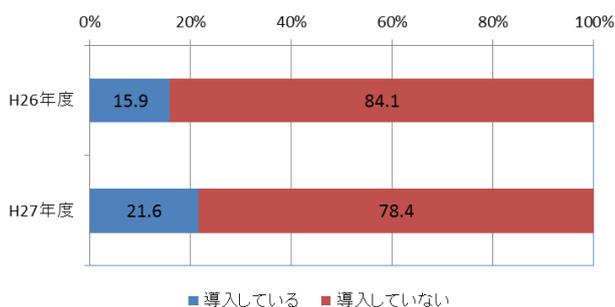
小学校



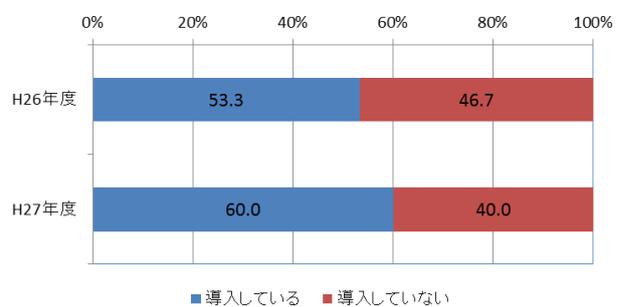
中学校



高等学校



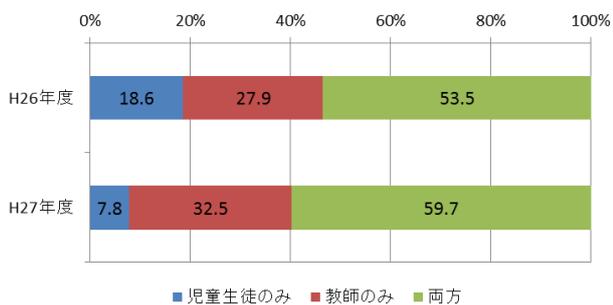
特別支援学校



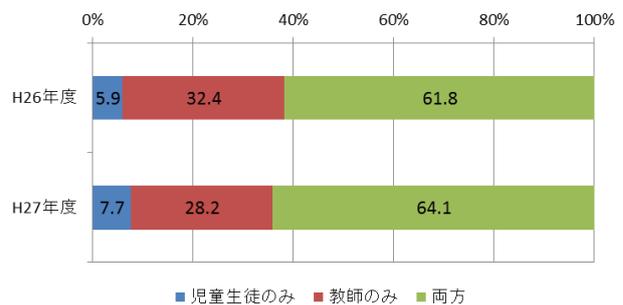
前年度結果と比較すると、全校種でタブレット端末の導入が進んでいる状況がうかがえる。特に、今年度は小学校の伸びが大きく、79校が導入している結果となった。

(3)② ①で「ア 導入している」を選択した学校のみ、お答えください。導入しているタブレット端末の使用対象はどれですか。
ア 児童生徒用のみ イ 教師用のみ ウ 両方

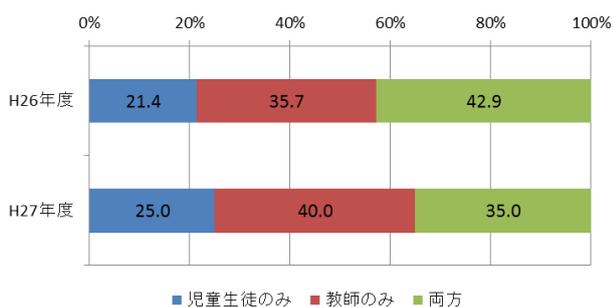
小学校



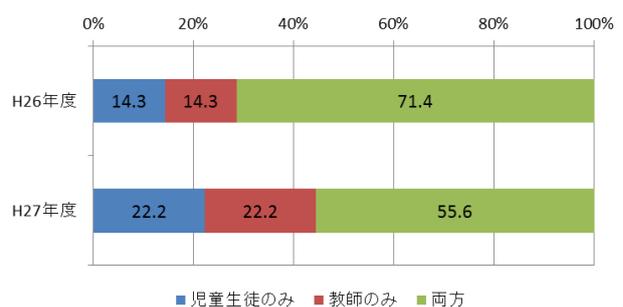
中学校



高等学校



特別支援学校

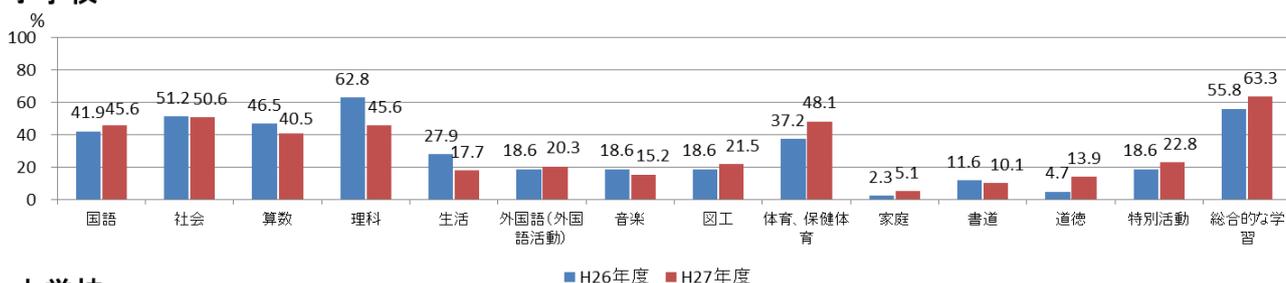


小学校，中学校ともに児童生徒と教師の「両方」で，使用の割合が増えている。高等学校，特別支援学校では「児童生徒用のみ」，「教師用のみ」の利用形態が増えている。

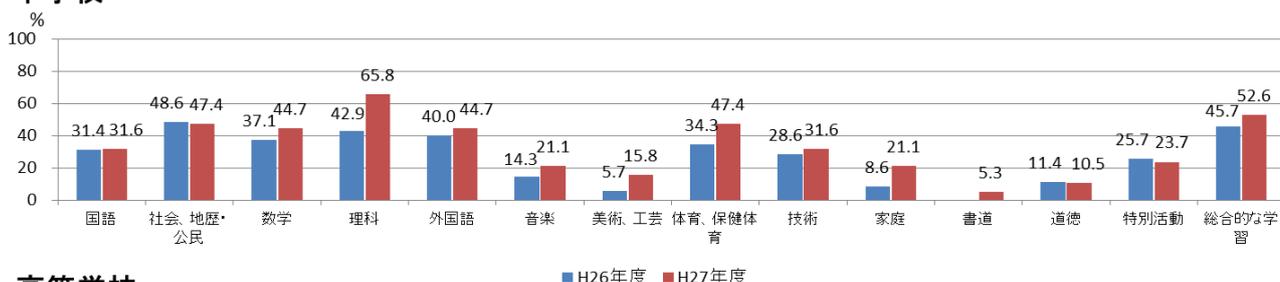
(3)③ ①で「ア 導入している」を選択した学校のみ，お答えください。タブレット端末を活用して授業実践を行った教科（科目）等はどれですか。（複数回答可）

- ア 国語 イ 社会，地理歴史・公民 ウ 算数，数学 エ 理科 オ 生活
 カ 外国語（外国語活動） キ 音楽 ク 図画工作，美術，工芸 ケ 体育，保健体育
 コ 技術，情報 サ 家庭 シ 書道 ス 道徳 セ 特別活動
 ソ 総合的な学習の時間 タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科

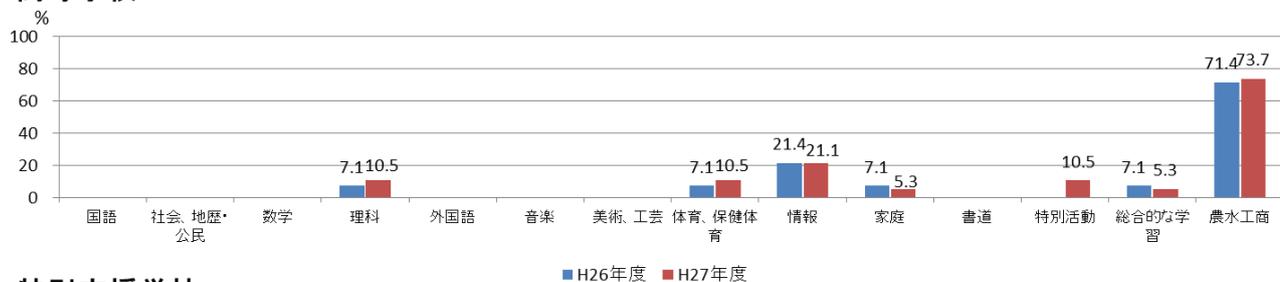
小学校



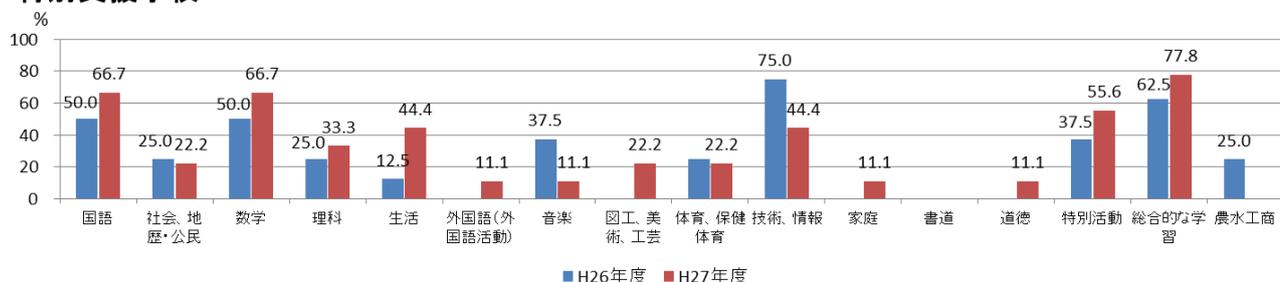
中学校



高等学校



特別支援学校



前年度結果と比較すると，小学校では，「体育」，「総合的な学習」での活用が増加しているが，一方「理科」の活用が大きく減少している。中学校では「理科」，「体育・保健体育」，「総合的な学習の時間」での活用が増加している。特別支援学校では「国語」，「数学」，「生活」，「特別活動」，「総合的な学習の時間」での活用が増加しているが，「音楽」，「技術，情報」での活用が大きく減少している。高等学校においては

大きな変化は見られない。

(3)④ ②で「ア 児童生徒用のみ」「ウ 両方」を選択した学校のみ、お答えください。児童生徒用のタブレット端末を自宅に持ち帰らせていますか。
ア はい イ いいえ

小学校



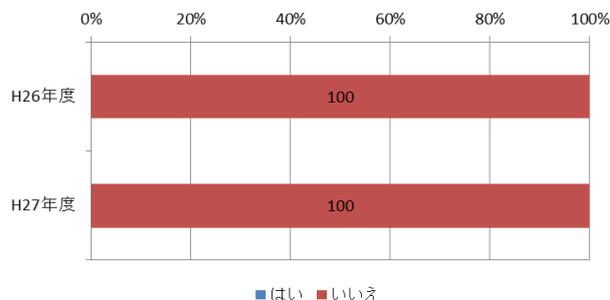
中学校



高等学校



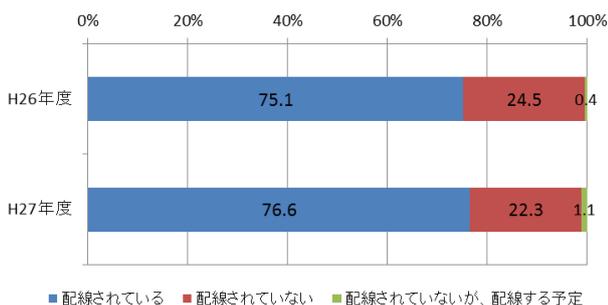
特別支援学校



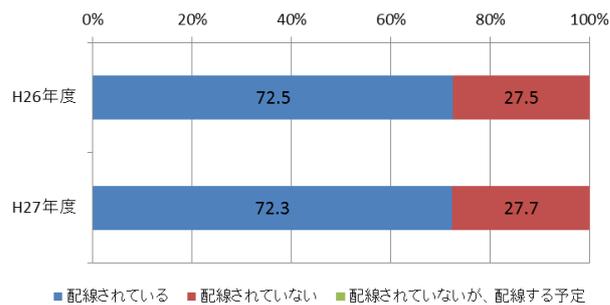
大半が学校のみでの利用であり、その傾向が拡大している。

(4) 普通教室に、ネットワーク回線（無線 LAN を含む）は配線されていますか。
ア 配線されている イ 配線されていない ウ 配線されていないが、配線する予定

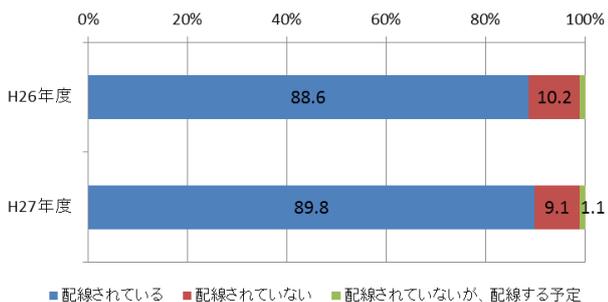
小学校



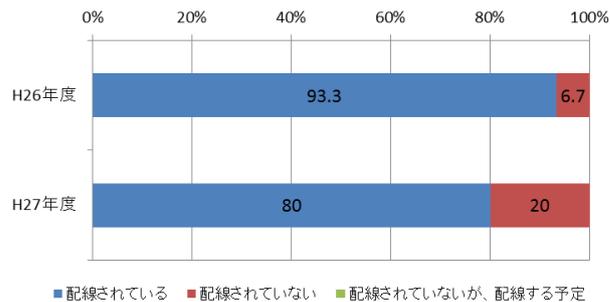
中学校



高等学校



特別支援学校



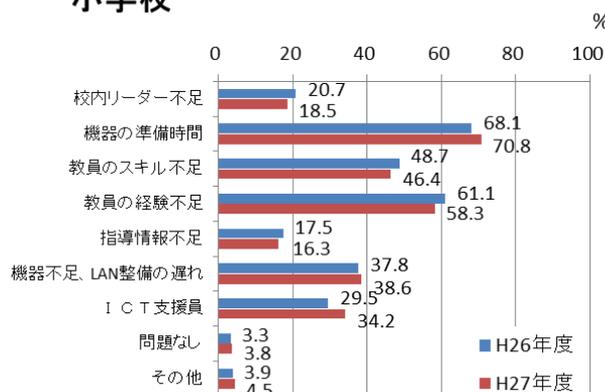
ネットワーク回線の普及が着実に進んでいるが、小学校、中学校の普及率は未だ70%台である。

(5)① 日頃の授業において、ICT 機器・教具を活用する際の課題はどのようなことですか。(複数回答可)

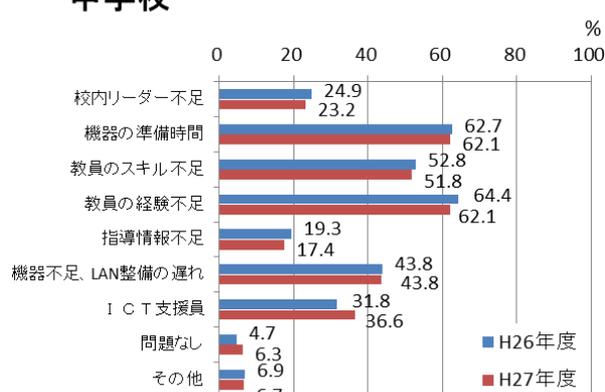
- ア 校内リーダーの不在
- イ 機器の準備に時間がかかる
- ウ 教員のコンピュータ操作のスキル不足
- エ 教員のコンピュータ活用に関する経験（慣れ）不足
- オ カリキュラムなど、指導情報の不足
- カ 機器の不足や校内LANの整備の遅れ
- キ ICT支援員がいない
- ク 特に問題はない
- ケ その他（授業における ICT 活用の課題となっていること、または改善提案）

② ①で「ケ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

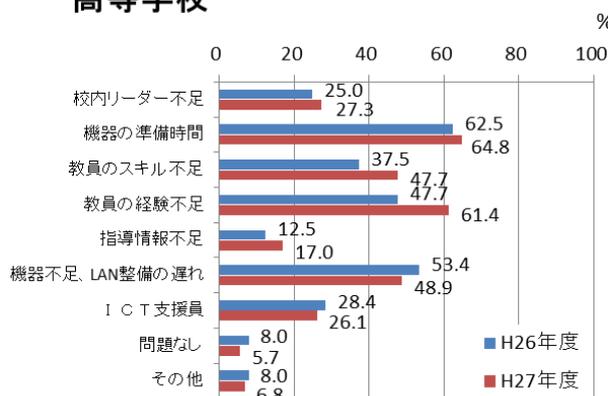
小学校



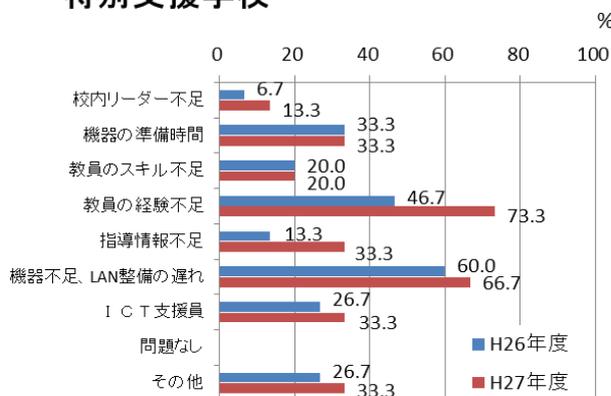
中学校



高等学校



特別支援学校



全校種において「機器の準備に時間がかかる」、「教員のコンピュータ操作のスキル不足」、「教員のコンピュータ活用に関する経験（慣れ）不足」、「機器の不足や校内LAN整備の遅れ」といった項目が上位を占める。

特に高等学校、特別支援学校においては「教員のコンピュータ活用に関する経験（慣れ）不足」が増加している。

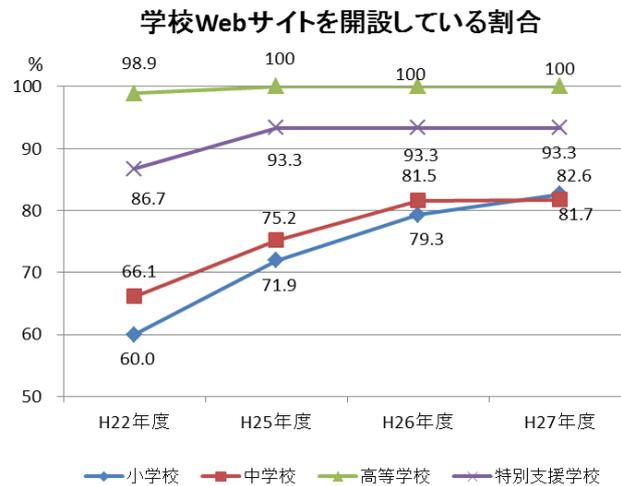
「ケ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・機器が古く、使いにくい。(7校)
- ・XP等旧式の機器が多く、ネット接続できる台数が限られている。(6校)
- ・デジタル教科書、デジタルコンテンツ不足。(6校)
- ・ICTサポーターが配置されなくなり、準備が煩雑である。(5校)

- ・機器等に不具合が生じた際の対応に課題がある。(5校)
- ・インターネット接続が遅い。(4校)
- ・ソフトウェア、Web閲覧での制限が多い。(3校)
- ・PCが不足している。(2校)
- ・使用したい機器・教具がない、機器が不足している。(2校)

2 学校Webサイトについて

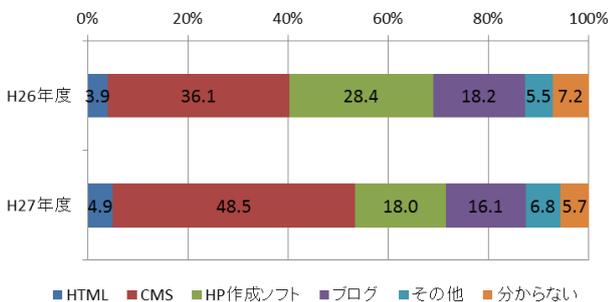
(1) 平成26年度末において、学校Webサイトを開設していますか。※ブログでの情報発信も含まれます。
ア はい イ いいえ



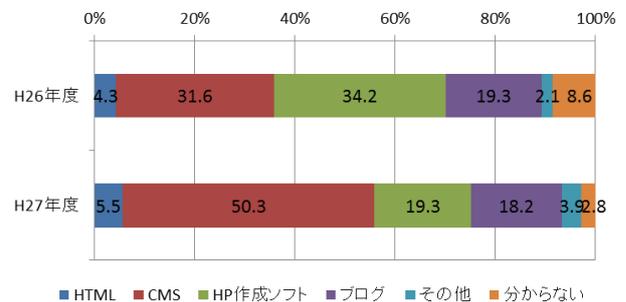
高等学校、特別支援学校では、ほぼ全ての学校が開設済みである。小学校が年々増加傾向であるが、CMS等によるポータルサイトの導入が順次進んでいるためと考えられる。

(2) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。学校Webサイトの更新方法はどれですか。
ア HTML イ CMS (NetCommons等) ウ ホームページ作成ソフト (ビルダー等)
エ ブログ オ その他 カ わからない

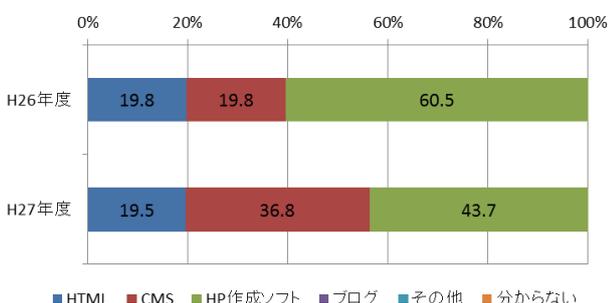
小学校



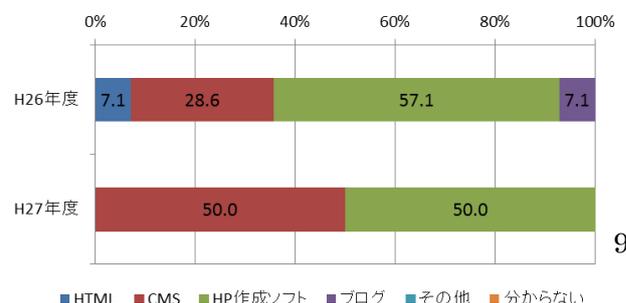
中学校



高等学校



特別支援学校



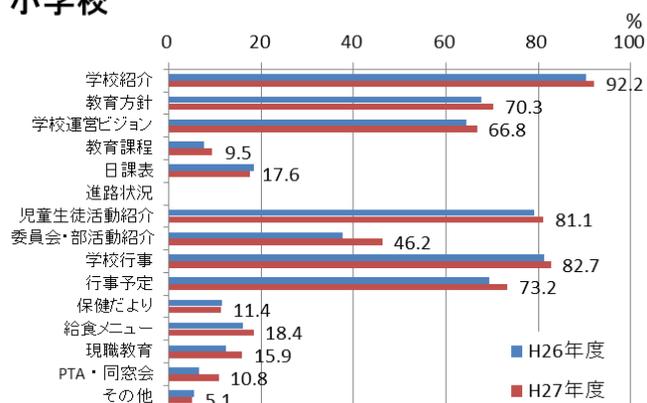
ホームページ作成ソフトが減少し、CMS を利用した学校 Web サイトが増加している。CMS の利用は、前年度と比較して小学校では 12.4 ポイント、中学校では 18.7 ポイント、高等学校では 17 ポイント、特別支援学校では 21.4 ポイントの増加である。中学校、高等学校、特別支援学校では、既存の学校 Web サイトを CMS に切り替えたところも多い。

(3) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。学校Webサイトの主な内容は何ですか。

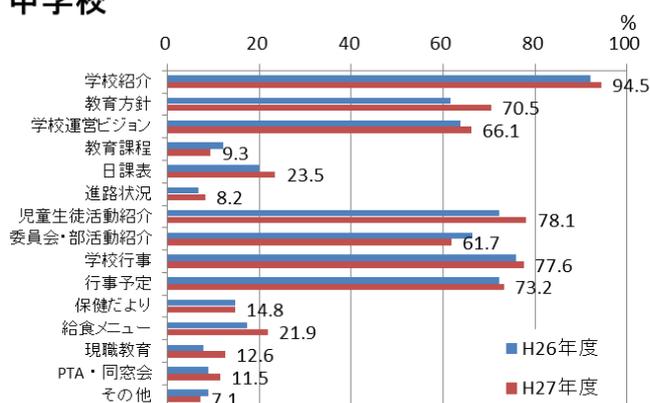
(複数回答可)

- ア 学校紹介 イ 教育方針 ウ 学校経営・運営ビジョン エ 教育課程 オ 日課表
- カ 進路状況 キ 児童生徒の活動紹介 ク 委員会活動・クラブ活動・部活動の様子
- ケ 学校行事の様子 コ 行事予定・学校からのお知らせ サ 保健だより
- シ 給食メニュー ス 現職教育・校内研究等 セ PTA・同窓会等のお知らせ
- ソ その他

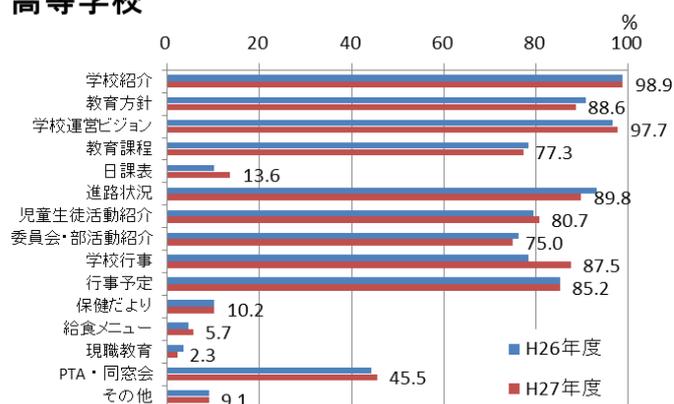
小学校



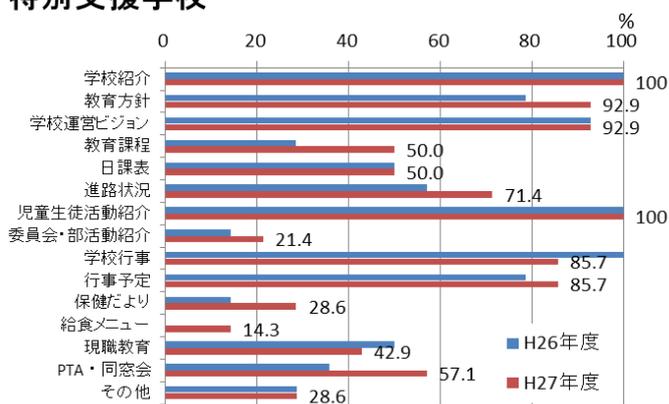
中学校



高等学校



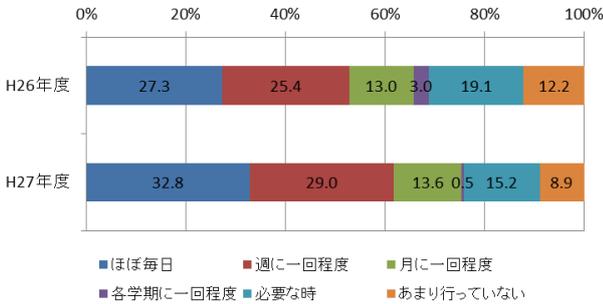
特別支援学校



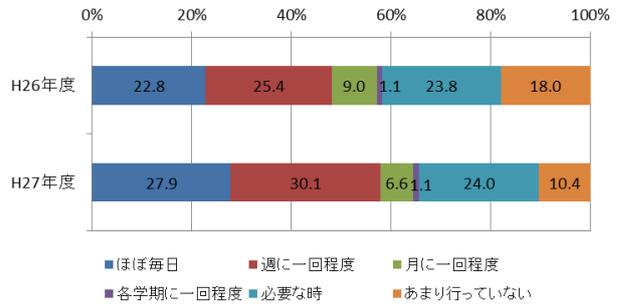
前年度結果と同傾向であり、全校種ともに年々内容を充実させている傾向がうかがえる。特に、「児童生徒の活動紹介」、「学校行事の様子」など児童生徒の日々の様子や「学校紹介」、「行事予定・学校からのお知らせ」など、学校の状況を積極的に発信する学校が増加している。

(4) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。学校 Web サイトの更新はどの程度ですか。
 ア ほぼ毎日 イ 週に1回程度 ウ 月に1回程度 エ 各学期に1回程度
 オ 必要な時に行っている カ あまり行っていない

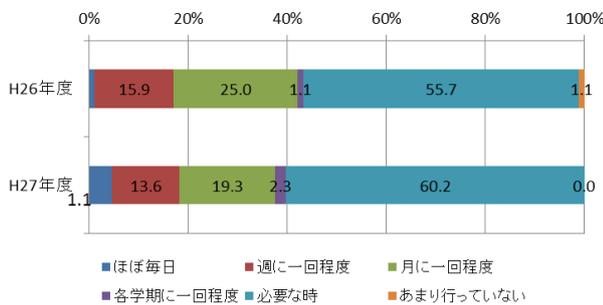
小学校



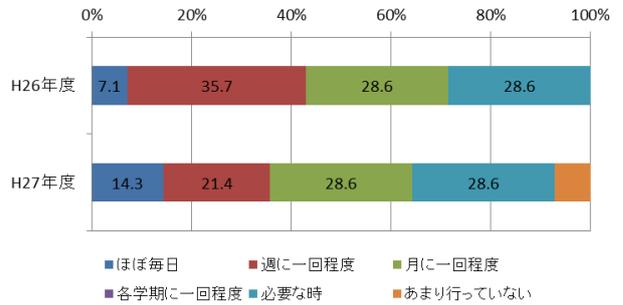
中学校



高等学校



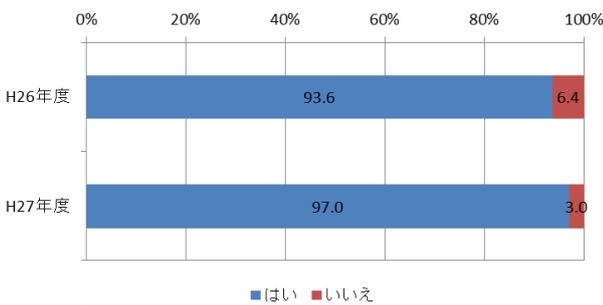
特別支援学校



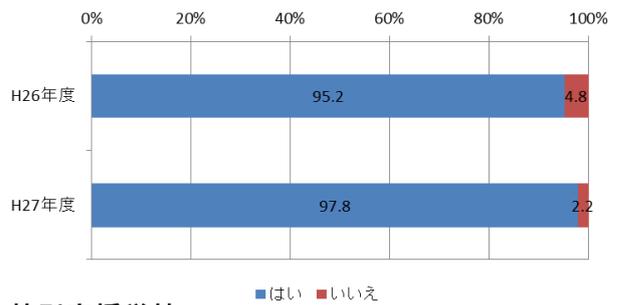
小学校、中学校では「ほぼ毎日」と「週に1回程度」をあわせると、約60%の学校が定期的に情報発信を行っている。高校では「必要な時に行っている」が60.2%と過半数である。

(5) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。情報発信のためのセキュリティポリシーを定めていますか。
 ア はい イ いいえ

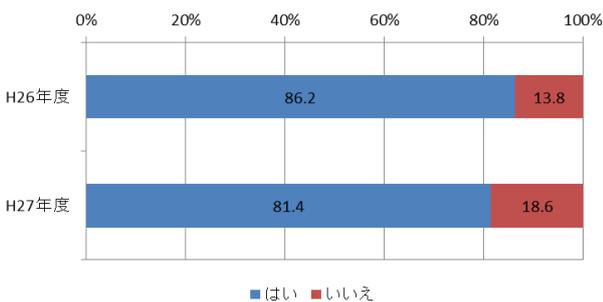
小学校



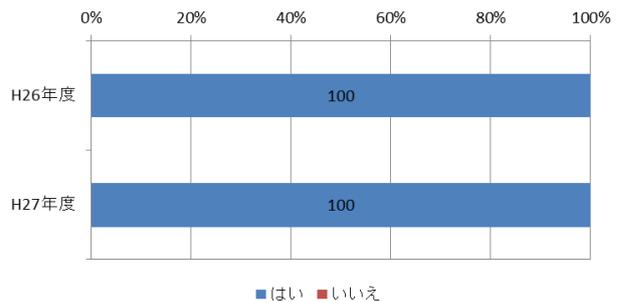
中学校



高等学校



特別支援学校

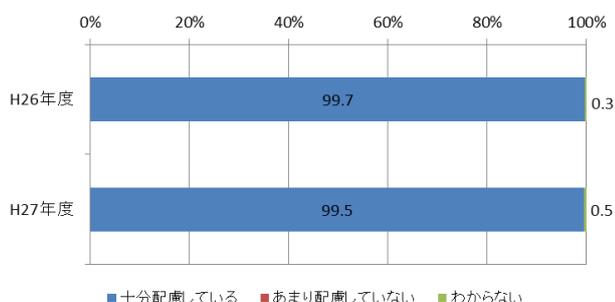


学校 Web サイトを開設しているほとんどの学校で、情報発信のためのセキュリティポリシーを定めている。

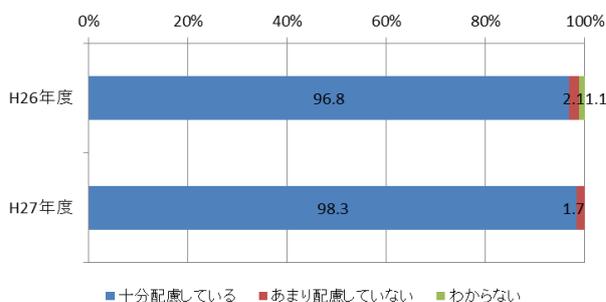
(6) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。学校 Web サイトを作成する場合、個人情報や著作権・肖像権等に配慮していますか。

ア 十分配慮している イ あまり配慮していない ウ わからない

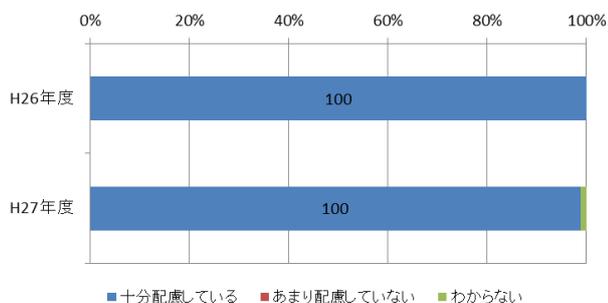
小学校



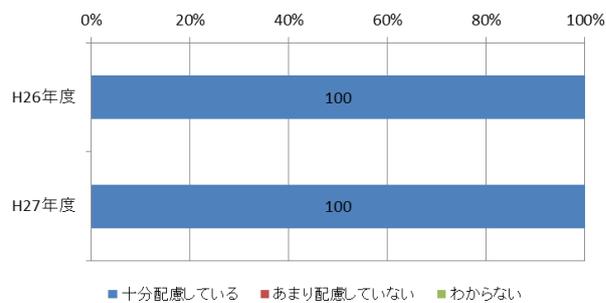
中学校



高等学校



特別支援学校



ほぼ全ての学校が個人情報や著作権・肖像権に配慮している。特に児童生徒の写真掲載等の際は、本人、保護者への趣旨説明、承諾について留意する必要がある。

(7) (1)で「ア はい」を選択した学校のみ、お答えください。平成26年度、学校Webサイトを公開して困ったことがあった場合、その内容を記述してください。

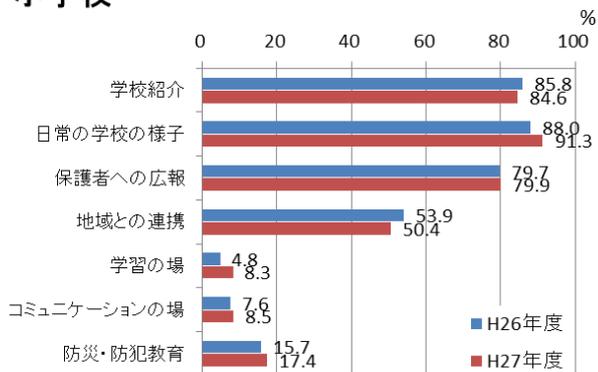
記述の主な内容は、以下のとおりである。

- ・Web サイトの更新作業に手間がかかる。(6校)
- ・Web サイトを更新できる教員がない。(3校)
- ・Web に掲載する際の肖像権の確認に手間がかかる。(3校)

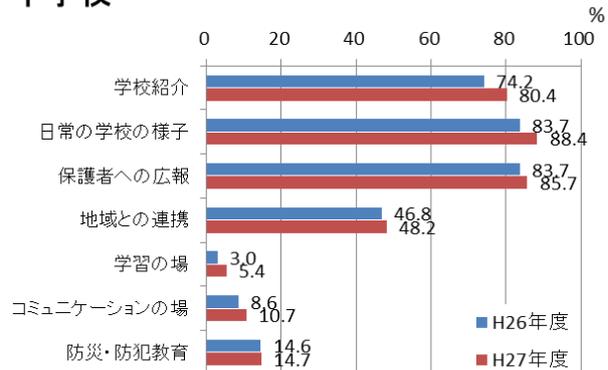
(8) 学校 Web サイトに求められるものは何ですか。(複数回答可)

- ア 学校紹介 イ 日常の学校の様子 ウ 保護者へに広報・連絡 エ 地域との連携
 オ 学習の場 カ コミュニケーションの場 キ 防災教育・防犯教育

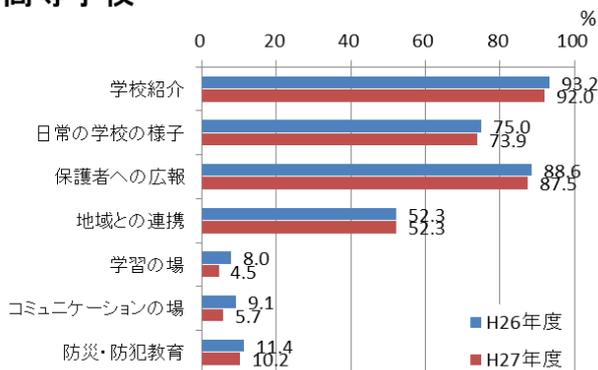
小学校



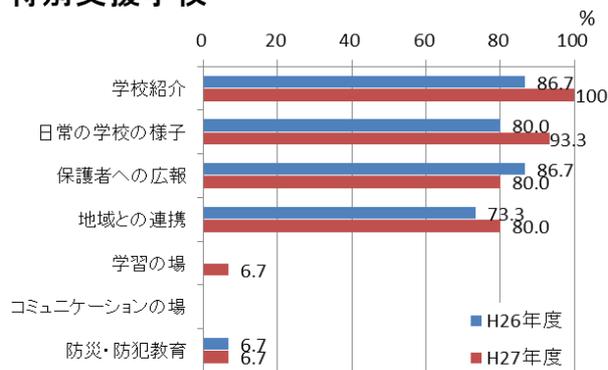
中学校



高等学校



特別支援学校

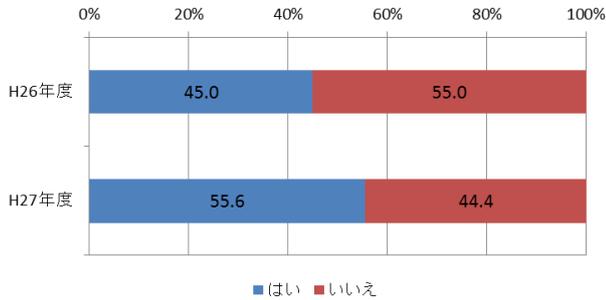


「学校紹介」、「日常の学校の様子」、「保護者への広報・連絡」、「地域との連携」等の情報を、学校 Web サイトで発信したいという回答が多く、前年度結果と比較して特に中学校、特別支援学校において、その傾向が強い。

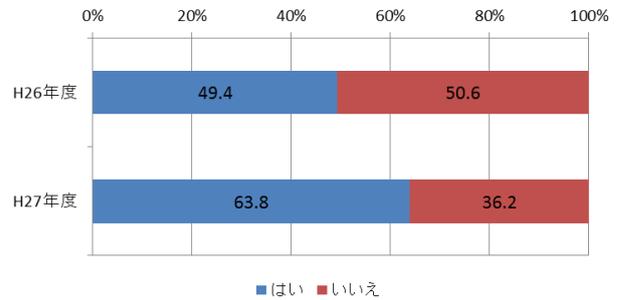
(9) NetCommons について知っていますか。

ア はい イ いいえ

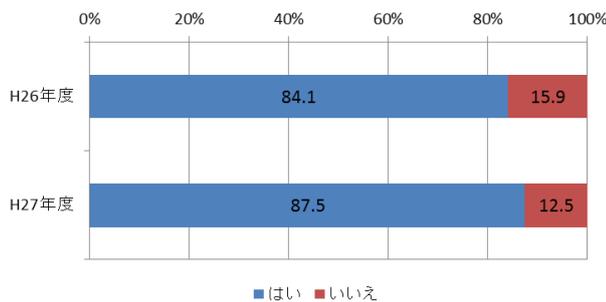
小学校



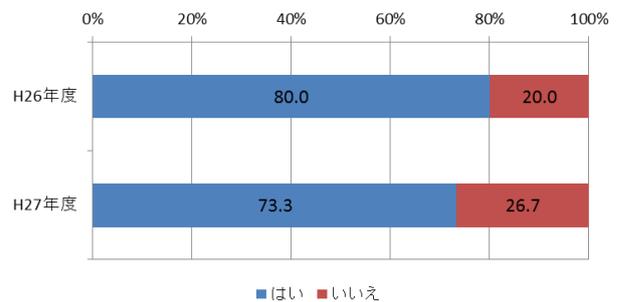
中学校



高等学校



特別支援学校

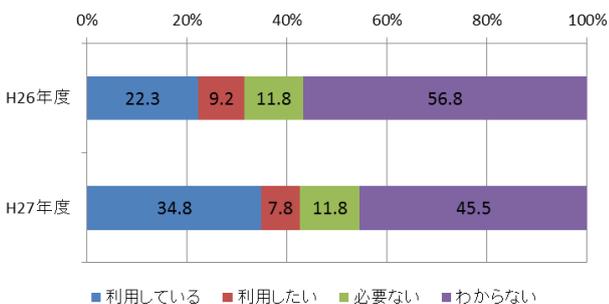


小学校、中学校において知っていると回答した学校が急増している。

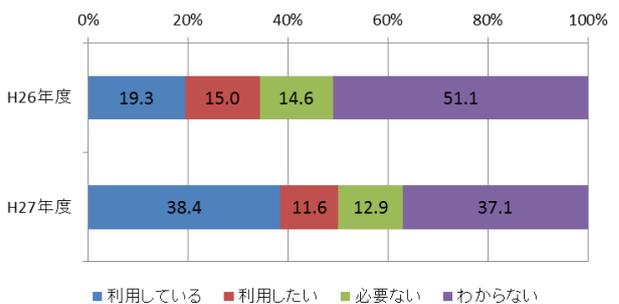
(10) NetCommons による学校 Web サイトの公開についてお答えください。

ア 利用している イ 利用したい ウ 必要ない エ わからない

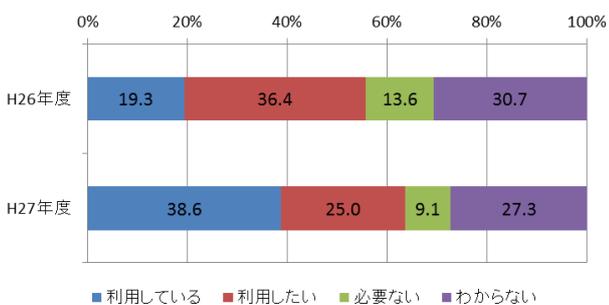
小学校



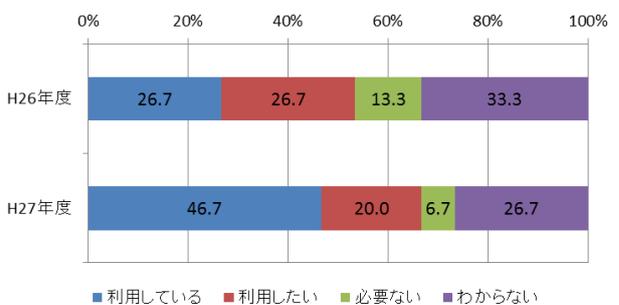
中学校



高等学校



特別支援学校

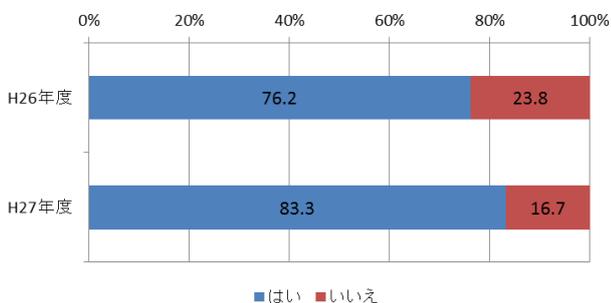


全校種ともに「利用している」と回答した割合が急増している。

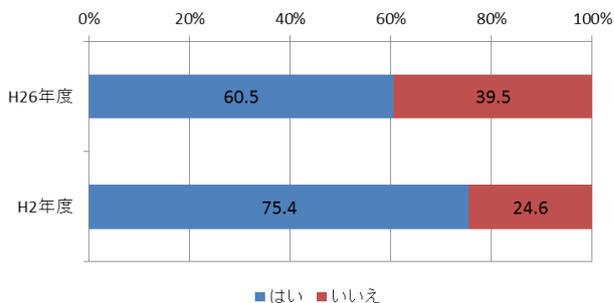
(11) 緊急メール配信システムを利用していますか。

ア はい イ いいえ

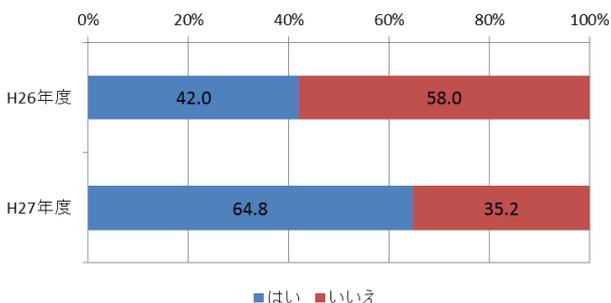
小学校



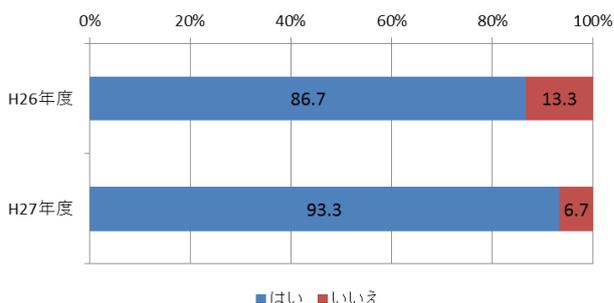
中学校



高等学校



特別支援学校

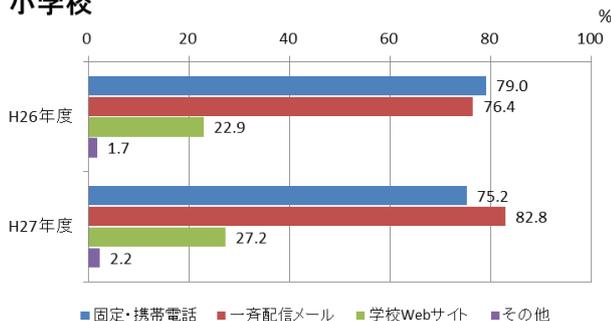


「はい」と回答した学校が、全校種ともに急増している。小学校 7.1 ポイント、中学校 14.9 ポイント、高等学校 22.8 ポイント、特別支援学校 6.6 ポイントの増加となっている。

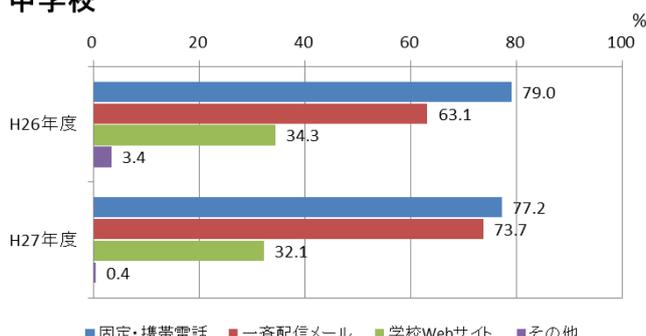
(12) 緊急時の児童生徒、保護者への想定している連絡手段についてお答えください。(複数回答可)

ア 固定電話・携帯電話 イ 一斉配信メール ウ 学校Webサイト エ その他

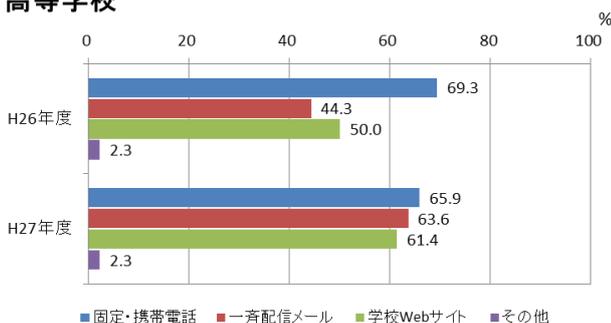
小学校



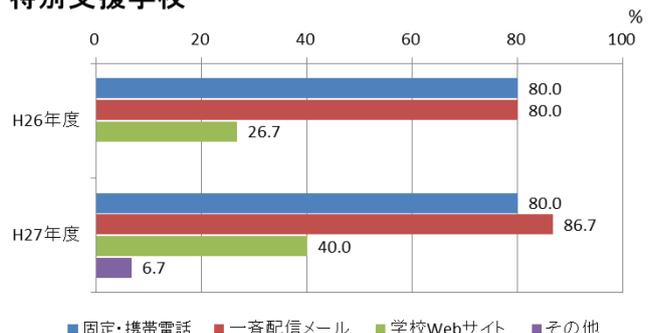
中学校



高等学校



特別支援学校



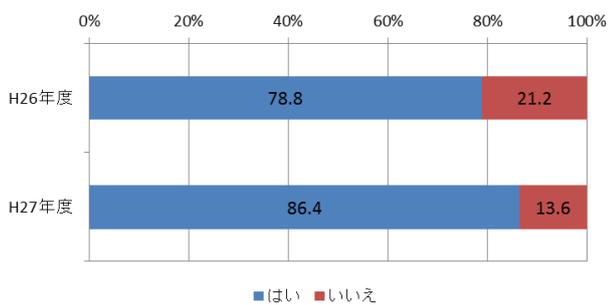
前年度結果と比較すると、「固定電話・携帯電話」がわずかに減少し、「一斉配信メール」、「学校 Web サイト」を活用した連絡手段が増加している。

3 スマートフォンやパソコン等でのインターネットの利用について

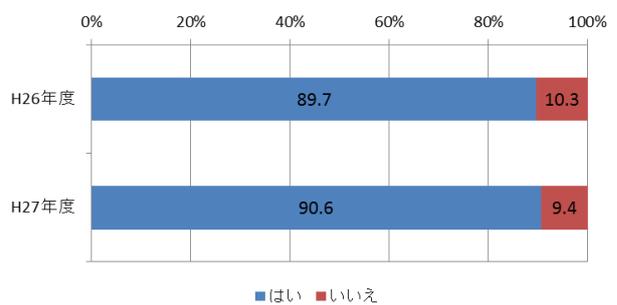
※ ここでは、児童生徒のスマートフォンや携帯電話、パソコン及びゲーム機等の機器におけるインターネットの利用について、回答してください。

(1)① 平成 26 年度，児童生徒のスマートフォン等に関する独自調査（実態把握調査）を行いましたか。
 ア はい イ いいえ
 ② ①で「イ いいえ」を選択した学校は，その理由をお書きください。
 ア はい イ いいえ

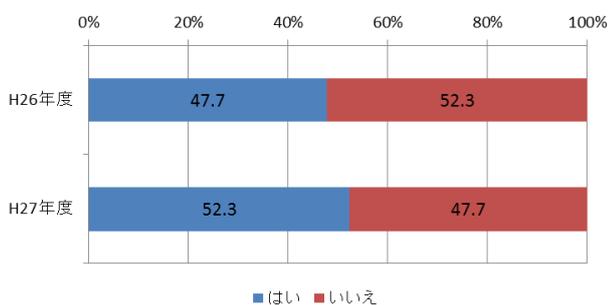
小学校



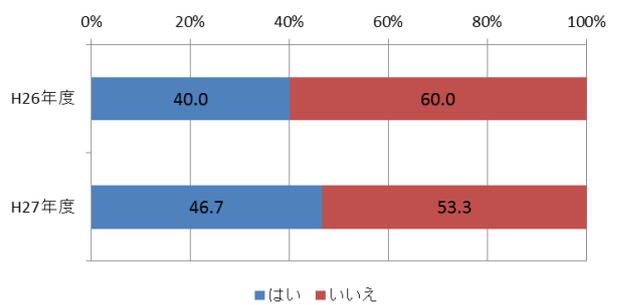
中学校



高等学校



特別支援学校



前年度結果と比較して、全校種ともに実施率が増加している。特に小学校では 86.4%，中学校では 90.6% と高い実施率である。

「イ いいえ」を選択した主な理由については以下のとおりである。

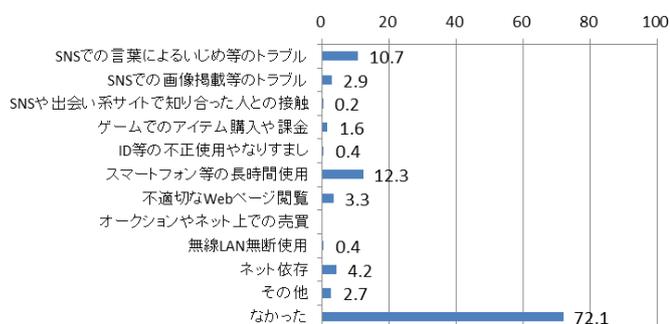
- ・外部調査（教育委員会，校長会等）を活用しているため。（18 校）
- ・スマートフォンを所持している児童・生徒が少ないため。（12 校）
- ・トラブルが発生していないため。（11 校）
- ・特に必要性を感じないため。（8 校）
- ・その他の各種調査の結果をもとに把握，指導しているため。（8 校）
- ・実態を把握しているため。（7 校）
- ・家庭での問題であり，家庭での管理に任せているため。（6 校）
- ・調査を行う機会がなかったため。（4 校）
- ・生徒のほぼ全員が所有しているため，必要性を感じないため。（2 校）
- ・情報モラルの単元を設定したり，講演会等を行ったため。（2 校）

(2)① 平成26年度，児童生徒がスマートフォン等でのインターネット利用において，どのような問題が発生しましたか。（複数回答可）

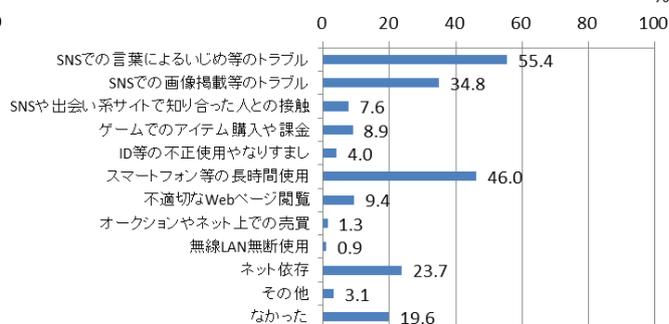
- ア SNS(LINEやTwitterなど)での言葉によるいじめ等のトラブル
- イ SNS(LINEやTwitterなど)での画像掲載等のトラブル
- ウ SNSや出会い系サイトで知り合った人との接触
- エ ゲームでのアイテム購入や課金
- オ ID等の不正使用やなりすまし
- カ スマートフォン等の長時間使用
- キ 不適切なWebページ閲覧
- ク オークションやネット上での売買
- ケ 無線LAN無断使用
- コ ネット依存
- サ その他
- シ なかった

② ①で「ケ その他」を選択した学校は，その内容をお書きください。

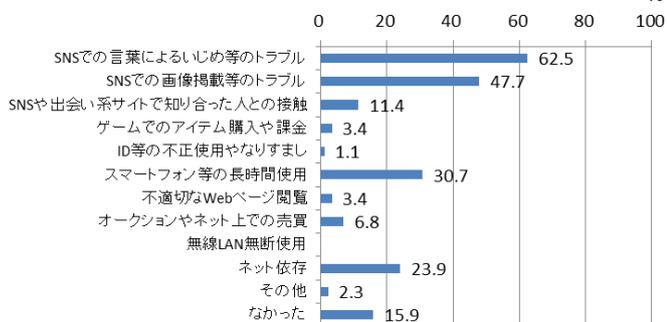
小学校



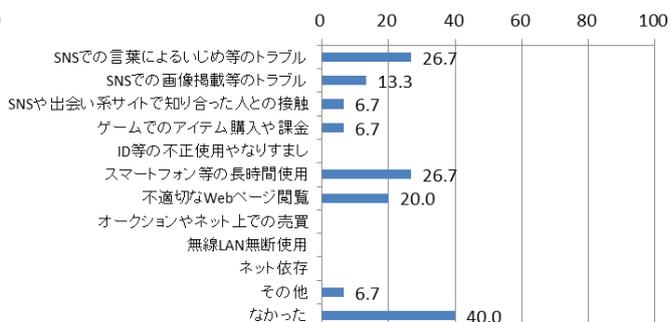
中学校



高等学校



特別支援学校



中学校，高等学校では，「SNSでの言葉によるいじめ等のトラブル」，「SNSでの画像掲載等のトラブル」があったと回答した割合が高い。特に「SNSでの言葉によるいじめ等のトラブル」があったと回答した学校は半数を超えている。小学校における「SNSでの言葉によるいじめ等のトラブル」の割合は10.7%と高くはないが，48校でトラブルがあったと回答しており，SNSによるいじめ等のトラブルが低年齢化している傾向がある。

また，中学校，高等学校においては，「スマートフォン等の長時間使用」，「ネット依存」に関する問題も多い。

「ケ その他」を選択した主な理由は以下のとおりである。

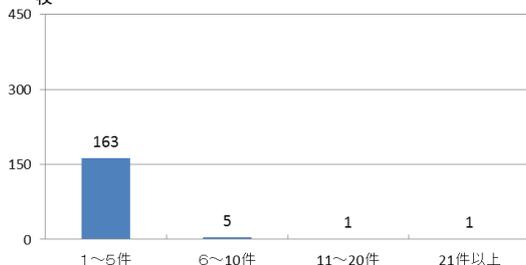
- ・オンラインゲーム上でのトラブル。(4校)
- ・個人情報を流された。(4校)

- ・LINE によるトラブル。(3校)
- ・動画サイトへのアップロードによるトラブル。(3校)

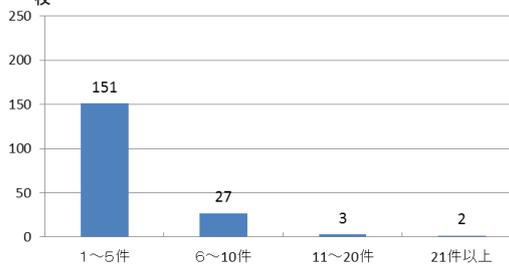
(2)③ 平成 26 年度発生した問題について、把握している件数をお答えください。

ア 1～5件 イ 6～10件 ウ 11～20件 エ 21件以上

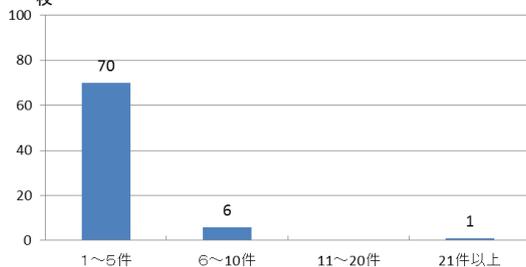
小学校
校



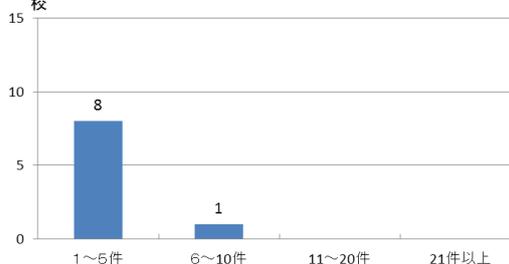
中学校
校



高等学校
校



特別支援学校
校



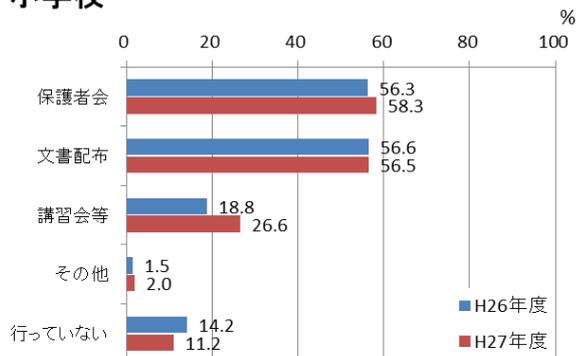
スマートフォン等による問題が発生している学校は、小学校 36.3%、中学校 67.4%、高等学校 79.5%、特別支援学校 53.3%であり、特に中学校、高等学校が多い。把握している件数は、全校種とも「1～5件」がほとんどであるが、6～10件把握している学校が中学校 27校、高等学校 6校、11件～20件把握している学校が中学校 3校である。

(3)① 平成 26 年度、スマートフォン等の指導について保護者とどのように連携を図りましたか。(複数回答可)

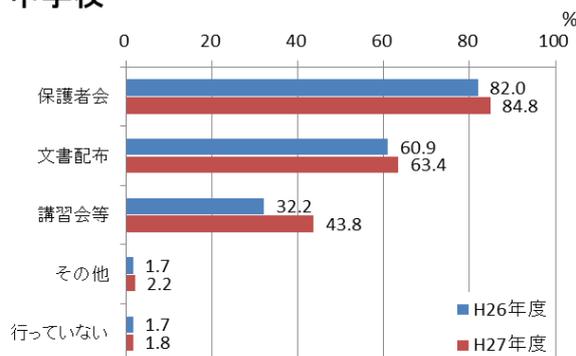
- ア 保護者会等で説明した イ 必要に応じて文書を配付した
ウ 講演会や学習会等を開催した エ その他 オ 特に行っていない

② ①で「エ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

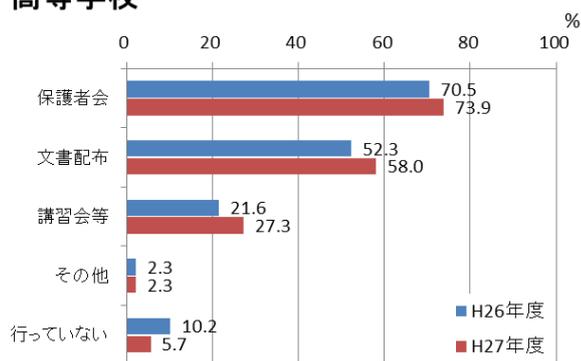
小学校



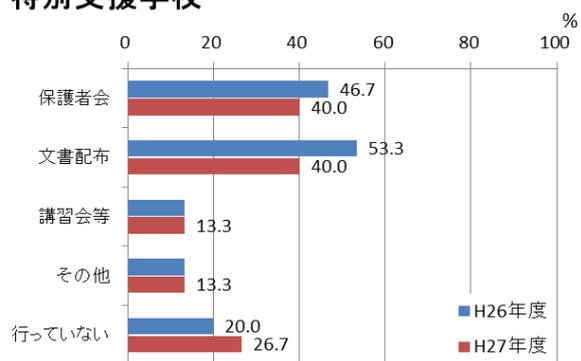
中学校



高等学校



特別支援学校



前年度と比較して、小学校、中学校、高等学校では「講習会や学習会等を開催した」と回答した学校が増加している。特別支援学校では約1/4が特に行っていないと回答している。

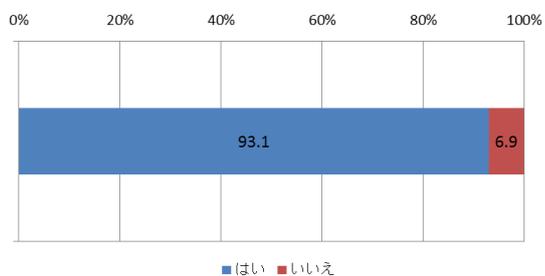
「エ その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・個別に教育相談等を実施した。(10校)
- ・学年学級懇談等で説明した。(2校)
- ・学校だより等で啓発を行った。(2校)

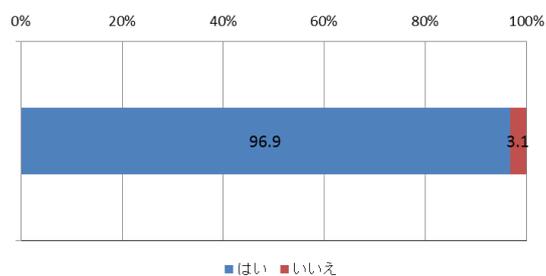
(4)① 青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律において、保護者は児童生徒に対し、フィルタリングソフトウェアの利用その他の方法により、インターネットの利用を適切に管理しなければならないことを知っていますか。

ア はい イ いいえ

小学校



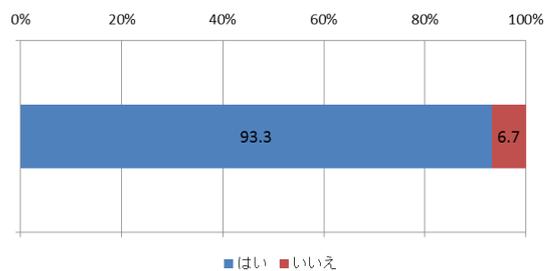
中学校



高等学校



特別支援学校

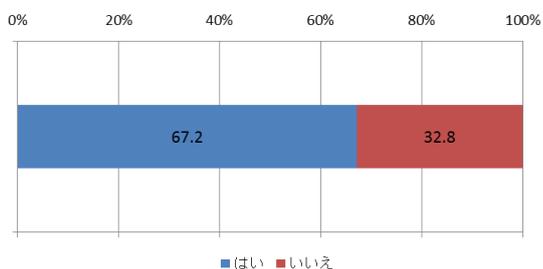


各校種とも90%を超える学校が知っていると回答している。

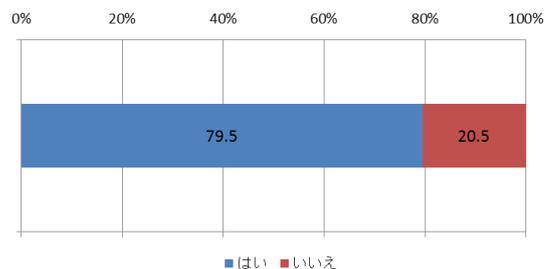
(4)② 保護者に対し、上記の法律について周知していますか。

ア はい イ いいえ

小学校



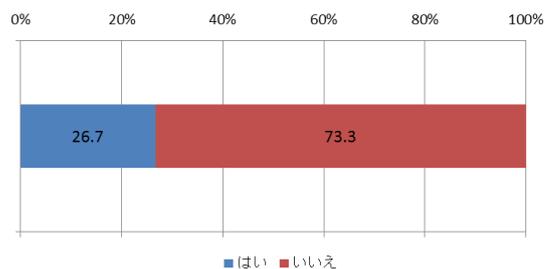
中学校



高等学校



特別支援学校

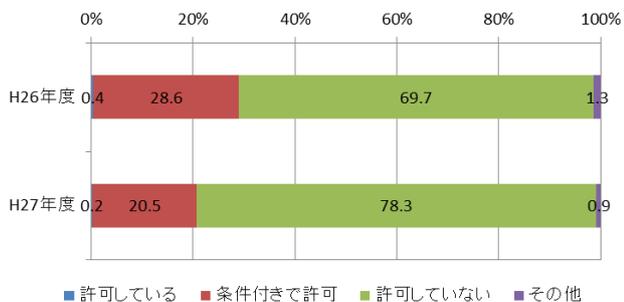


保護者へ周知していると回答した学校は、中学校が約80%、小学校、高等学校が約70%、特別支援学校が約25%である。

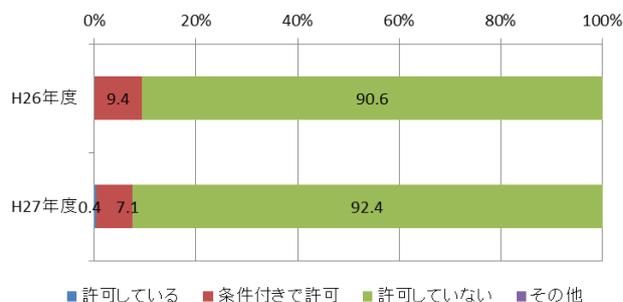
(5) 学校へのスマートフォン等の持ち込みを許可していますか。

ア 許可している イ 条件付きで許可している ウ 許可していない エ その他

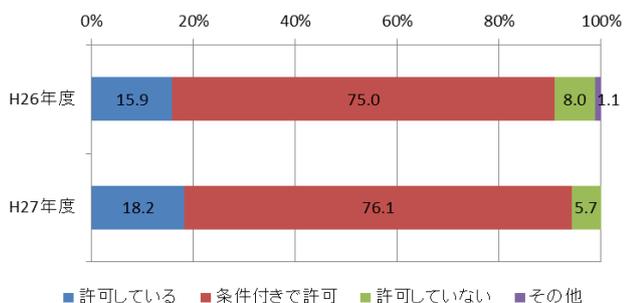
小学校



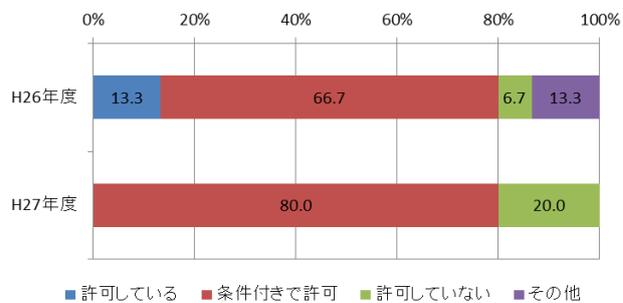
中学校



高等学校



特別支援学校



「許可している」、「条件付きで許可している」と回答した小学校は約20%、中学校は約7%であり、多くの小学校、中学校は持ち込みを許可していない。高等学校、特別支援学校については「許可している」、

「条件付きで許可している」と回答した学校はそれぞれ約 95%、80%であり、何らかの形で許可している学校が多い。

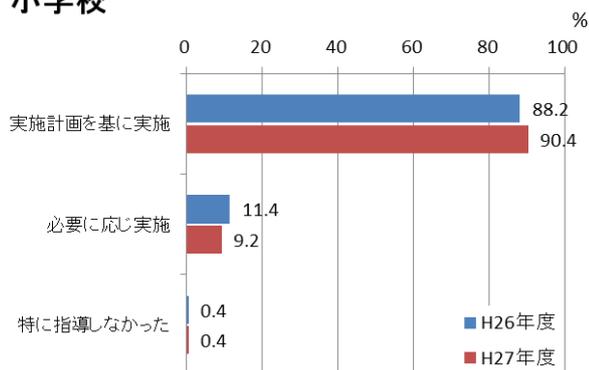
4 情報モラルについて

(1)① 平成26年度，児童生徒に対する情報モラル教育にはどのように取り組みましたか。

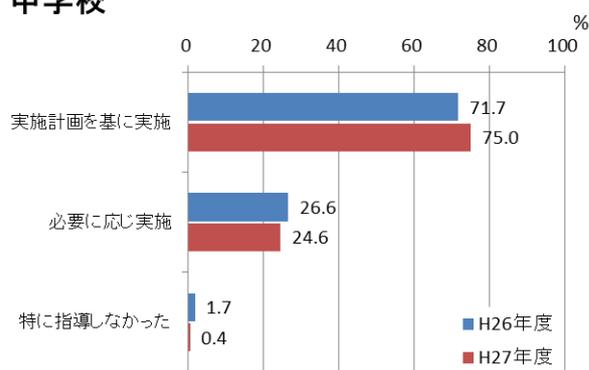
※ 参考例として，国立教育政策研究所の Web サイトに「情報モラル指導カリキュラムチェックリスト」が示されています。

ア 指導計画を基に，計画的に指導した イ 指導計画はないが，必要に応じて指導した
ウ 特に指導していない

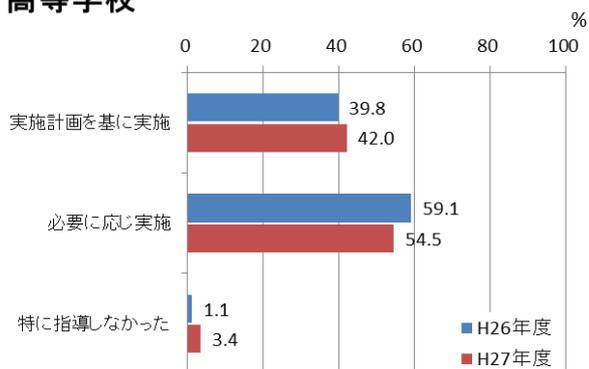
小学校



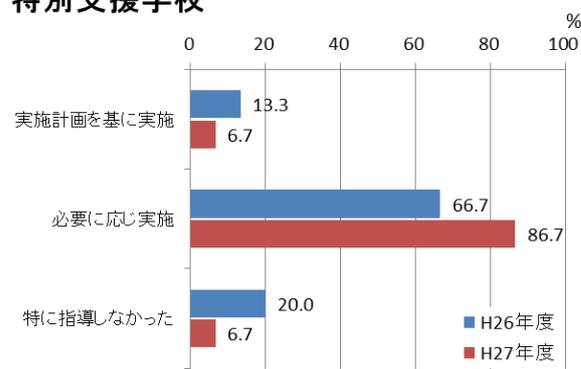
中学校



高等学校



特別支援学校

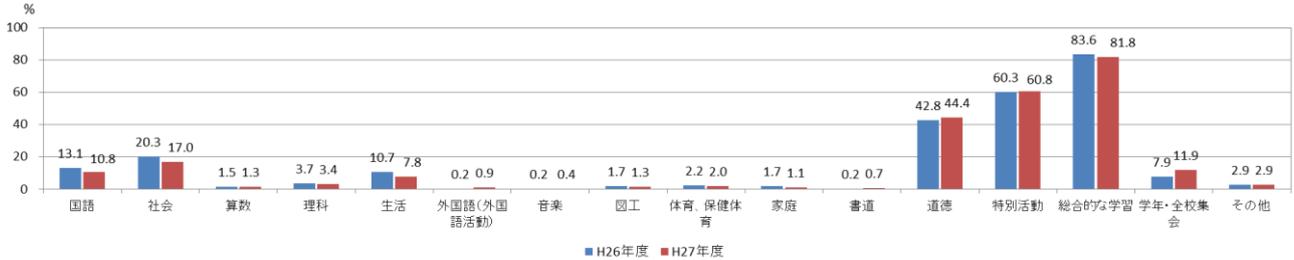


小学校，中学校においては「指導計画を作成し，計画的に実施」が最も多い。高等学校では「指導計画を作成し，計画的に実施」と「指導計画はないが，必要に応じて実施」が同程度である。特別支援学校は「指導計画はないが，必要に応じて指導」が最も多い。

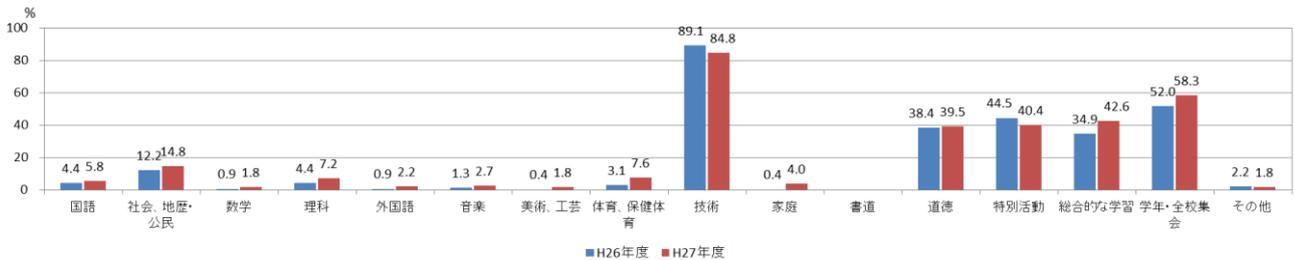
(1)② ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、どの時間に指導しましたか。（複数回答可）

- ア 国語 イ 社会、地理歴史・公民 ウ 算数、数学 エ 理科 オ 生活
 カ 外国語（外国語活動） キ 音楽 ク 図画工作、美術、工芸 ケ 体育、保健体育
 コ 技術、情報 サ 家庭 シ 書道 ス 道徳 セ 特別活動
 ソ 総合的な学習の時間 タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科
 チ 学年・全校の集会等 ツ その他

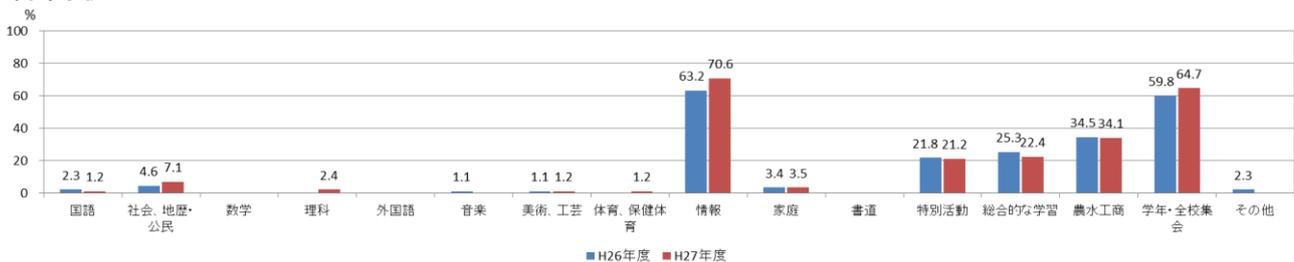
小学校



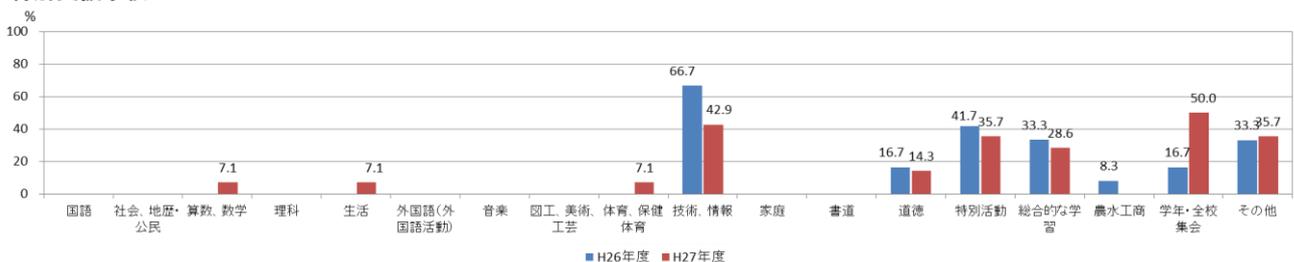
中学校



高等学校



特別支援学校

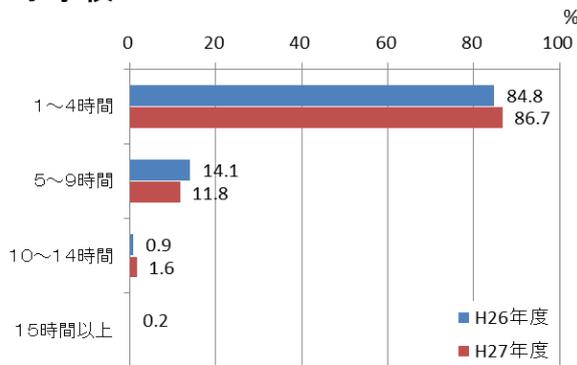


全校種共通して「特別活動」、「総合的な学習の時間」での指導が多い。加えて小学校では「道徳」、中学校では「技術」、「道徳」、「学年・全校集会等」、高等学校では「情報」、「農水工商」、「学年・全校集会等」での指導が多い。特別支援学校では「技術、情報」、「学年・全校集会等」での指導が多い。

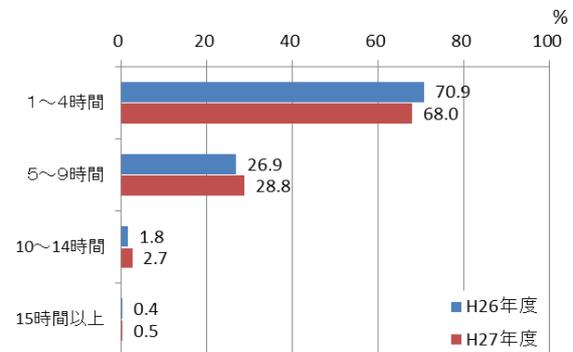
(1)③ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、平成26年度は何単位時間程度取り組みましたか。(学年によって違いがありますが、平均した数値でお答えください。)

ア 1～4時間 イ 5～9時間 ウ 10～14時間 エ 15時間以上

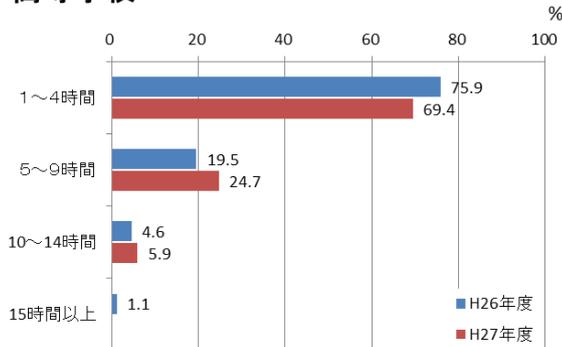
小学校



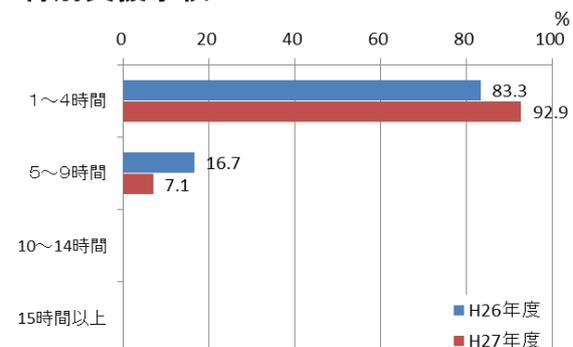
中学校



高等学校



特別支援学校



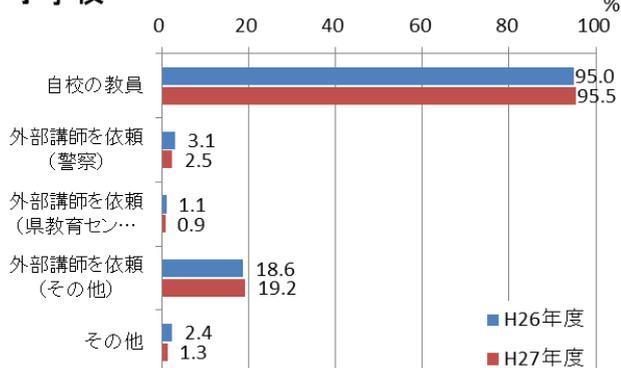
前年度と同様に、情報モラルの指導時間は全校種ともに「1～4時間」が最も多い。

(1)④ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、誰が指導しましたか。(複数回答可)

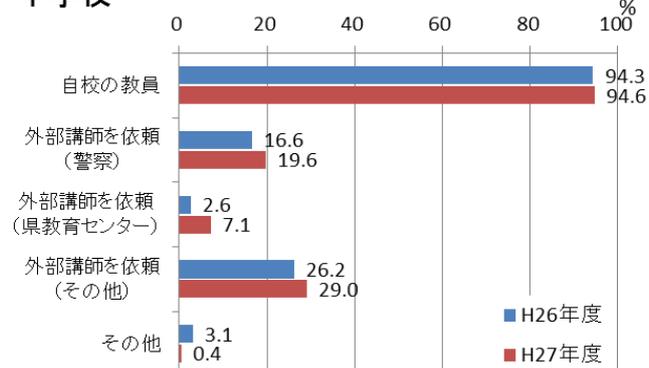
ア 自校の教員 イ 外部講師を依頼 (警察) ウ 外部講師を依頼 (教育センター)
エ 外部講師を依頼 (その他) オ その他

⑤ ④で「エ 外部講師を依頼 (その他)」「オ その他」を選択した学校は、誰に依頼したかをお書きください。

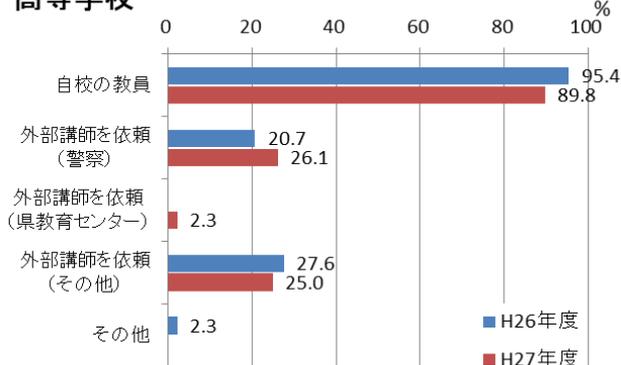
小学校



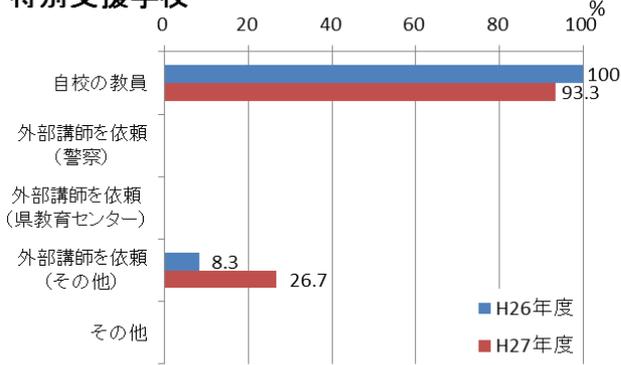
中学校



高等学校



特別支援学校



全校種において「自校の教員」が情報モラル教育を行ったケースが多く、約9割を占める。小学校、中学校、高等学校で「外部講師」を依頼した情報モラル教育は、2～3割程度である。

「エ 外部講師を依頼 (その他)」及び「オ その他」の主な記述は以下のとおりである。

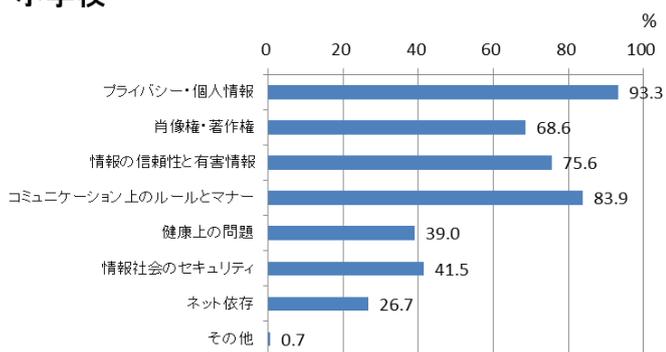
- ・民間企業 (NTT, au, LINE 等) 社員 (98 校)
- ・ICT サポーター, ICT 支援員 (28 校)
- ・メディア教育指導員, メディア指導員 (18 校)
- ・特別非常勤講師 (10 校)
- ・Web カウンセリング協会 (5 校)
- ・消費生活センター職員 (4 校)
- ・警察職員 (4 校)
- ・市町村職員 (4 校)
- ・大学教員 (3 校)

(1)⑥ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、その内容をお書きください。(複数回答可)

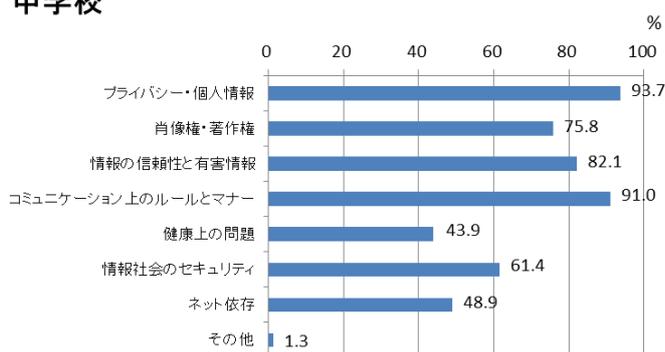
- ア プライバシー・個人情報 イ 肖像権・著作権 ウ 情報の信頼性と有害情報
 エ コミュニケーション上のルールとマナー オ 健康上の問題
 カ 情報社会のセキュリティ キ ネット依存 ク その他

⑦ ⑥で「キ その他」を選択した学校は、指導した内容をお書きください。

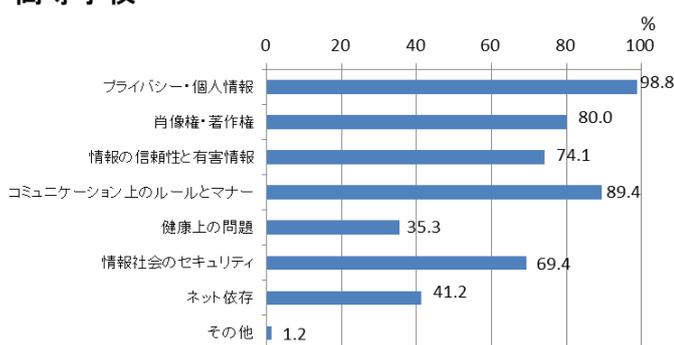
小学校



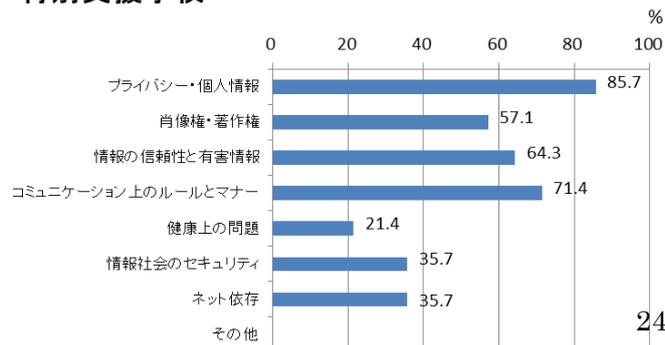
中学校



高等学校



特別支援学校



全校種とも「プライバシー・個人情報」、「肖像権・著作権」、「情報の信頼性と有害情報」、「コミュニケーション上のルールとマナー」について、多くの学校が指導している。

(2) 情報モラルを指導する際、教えづらい内容やわかりにくい用語等があればお書きください。

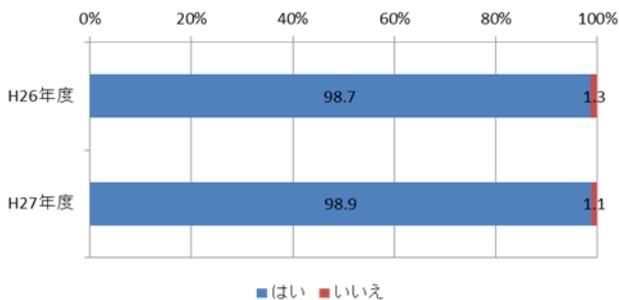
主な記述については、以下のとおりである。

- ・SNS (18校)
- ・ネットに関するカタカナ言葉, 略語, 隠語 (14校)
- ・著作権・肖像権 (11校)
- ・個人情報保護, 情報セキュリティ (7校)
- ・児童生徒使用の隠語 (3校)
- ・ネットに関する最新動向 (3校)
- ・信頼できる情報の見分け方 (3校)
- ・学校の実態に合った指導法 (2校)
- ・LINE (2校)
- ・ネット依存 (2校)
- ・有害サイト, 有害情報 (2校)

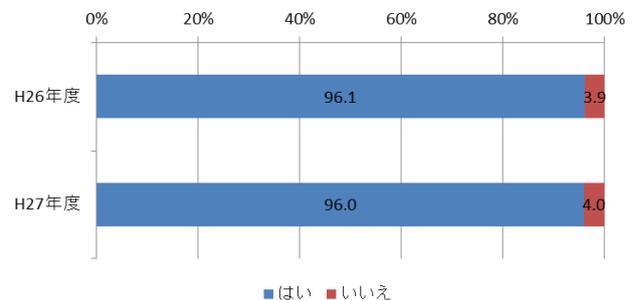
(3) 情報モラルの指導をする際、指導案やワークシートの例があったら活用しますか。

ア はい イ いいえ

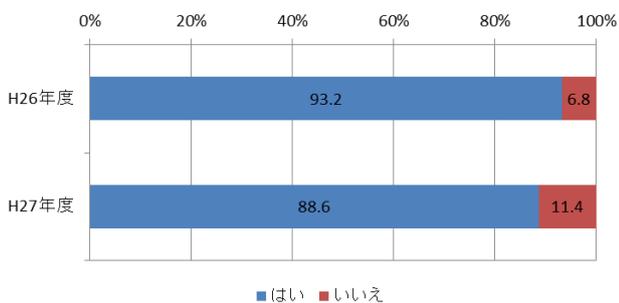
小学校



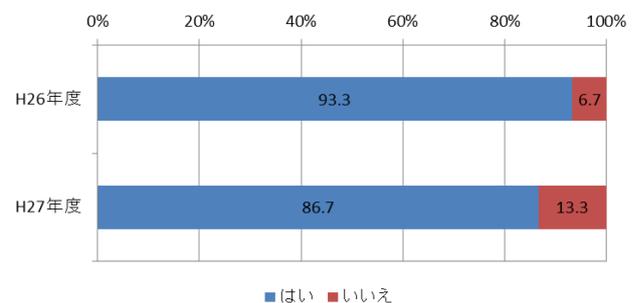
中学校



高等学校



特別支援学校



全校種とも活用したいと考えている。

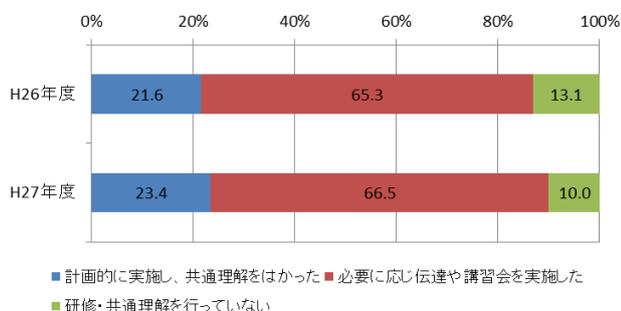
(4)① 平成26年度の情報モラルに関する校内研修についてお答えください。

ア 教職員対象の校内研修を計画的に行い、共通理解を図った

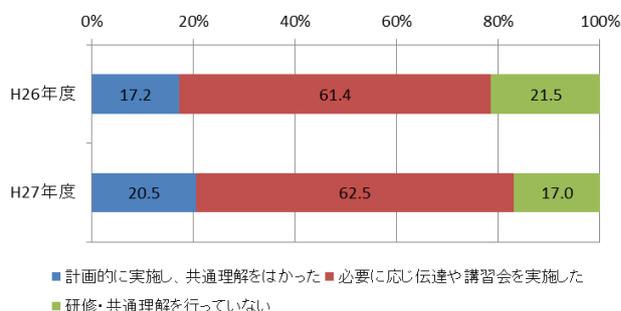
イ 教職員に対する研修計画はなかったが、必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした

ウ 教職員には特に研修・共通理解等を行ってはいない

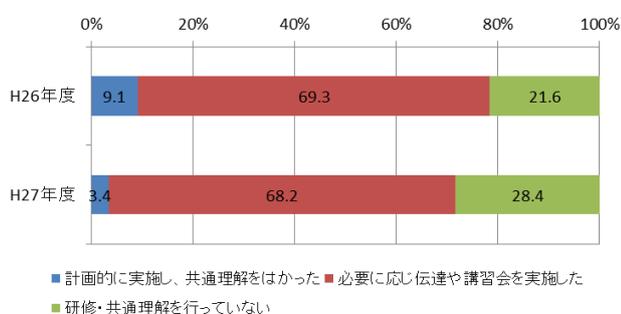
小学校



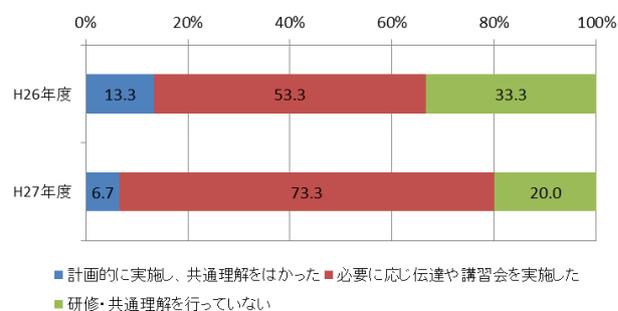
中学校



高等学校



特別支援学校



全校種とも「校内研修を計画的に行い、共通理解を図った」、「必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした」が多く、校内研修が実施されている様子が見えてくる。

(4)② 情報モラルの研修を行うにあたり、どのような研修が必要だとお考えですか。また、どのような情報があると研修に活用できますか。

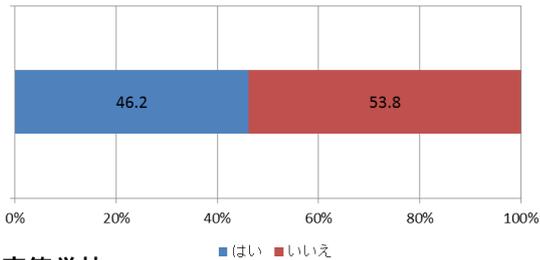
主な記述内容については、以下のとおりである。

- ・最近の話題やトラブル事例、被害にあった時の対処について。(174校)
- ・教員対象の SNS, LINE に関する研修。(36校)
- ・校内研修用情報モラル資料、事例集。(24校)
- ・個人情報の扱い方、セキュリティに関する基礎知識。(22校)
- ・子どもへの発達段階に応じた指導資料、事例集。(22校)
- ・スマートフォンや情報モラル等について疑似体験できる研修。(15校)
- ・情報モラル教育の指導法に関する研修。(12校)
- ・事例をもとに法律に照らし合わせた事例研修。(11校)
- ・情報機器の操作、活用方法に関する研修。(10校)
- ・家庭、保護者に対する研修会。(7校)
- ・子どもが使用している SNS, アプリ, サイトに関する研修。(6校)
- ・外部講師による専門的な研修。(5校)
- ・情報端末のフィルタリングに関する研修。(4校)
- ・家庭での管理・ルールづくりに関する研修。(3校)

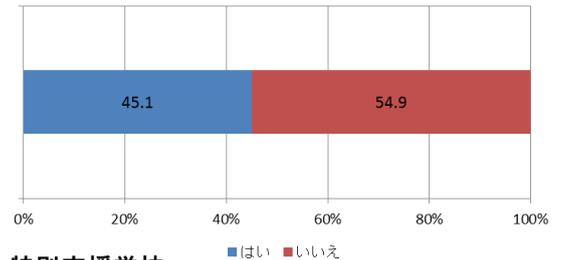
(5) 該当市町村または各校独自のスマートフォン等に関するルール等がありますか。

ア はい イ いいえ

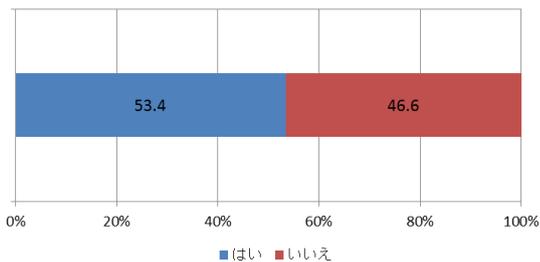
小学校



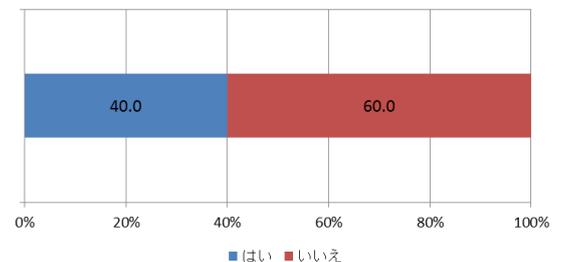
中学校



高等学校



特別支援学校



該当市町村または各校独自のスマートフォンに関するルールを定めている学校は、全校種とも半数程度である。

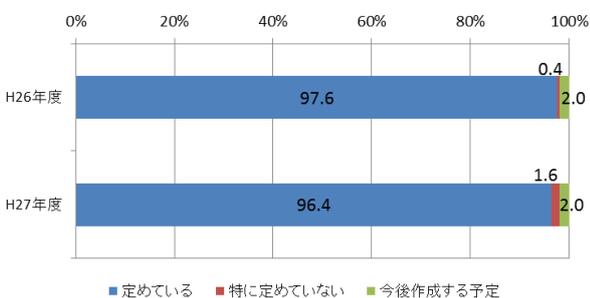
5 個人情報保護及び情報セキュリティについて

※ ここでいう個人情報とは、紙や電子データとして記録された、児童生徒や保護者及び教職員に関する氏名や生年月日、その他の個人を識別することができる情報のことです。また、直接、個人が識別できなくとも他の情報と照合することで個人を識別できる情報も含まれます。（「福島県個人情報保護条例第二条一項」に規定）

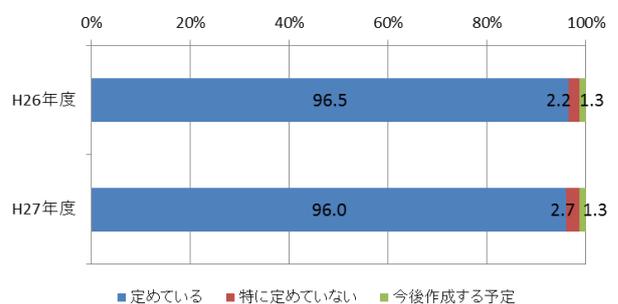
(1)① 平成26年度末において、個人情報を保護するために校内規定を定めていますか。

ア 定めている イ 特に定めていない ウ 現在は定めていないが、今後作成する予定

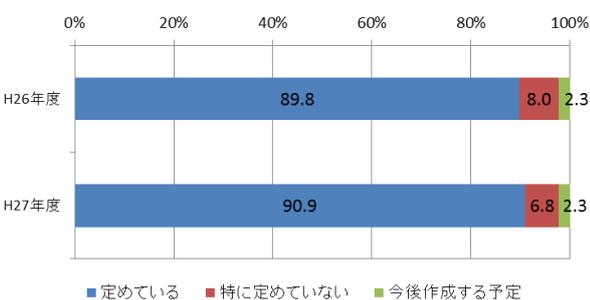
小学校



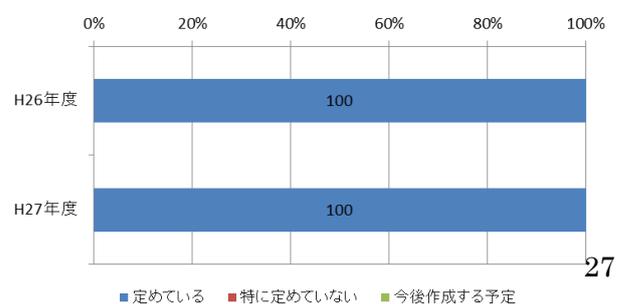
中学校



高等学校



特別支援学校



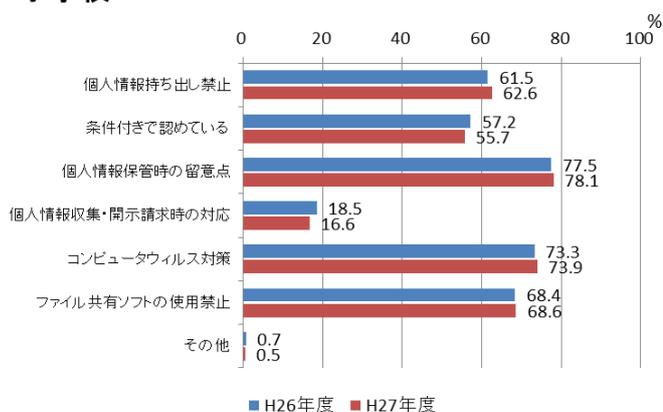
全校種で個人情報の保護に関する校内規定は、ほぼ定められている。

(1)② ①で「ア 定めている」を選択した学校は、主に規定している内容をお答えください。(複数回答可)

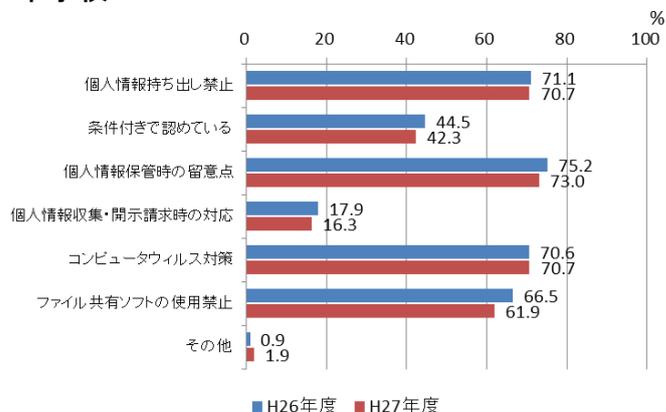
ア 個人情報の持ち出しを禁止している
 イ 条件付き(管理職の許可やセキュリティ対策実施済み等)で個人情報の持ち出しを認めている
 ウ 個人情報を保管するときの留意点
 エ 個人情報を収集するときや開示請求があったときの対応
 オ コンピュータウイルス対策(セキュリティソフトの導入や個人や外部のコンピュータ等との接続等)
 カ ファイル共有ソフト(WinnyやShare, LimeWire, BitTorrent等)の使用禁止 キ その他

③ ②で「キ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

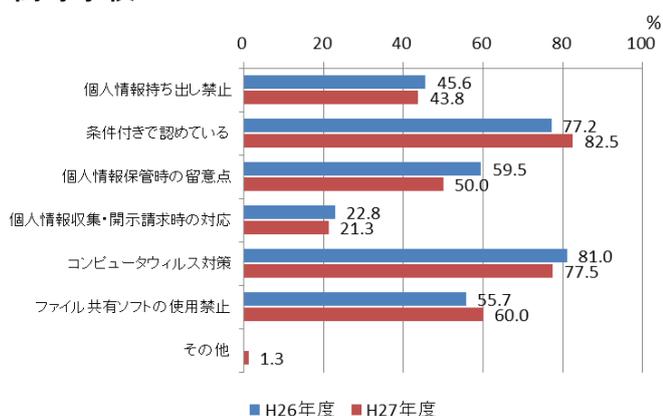
小学校



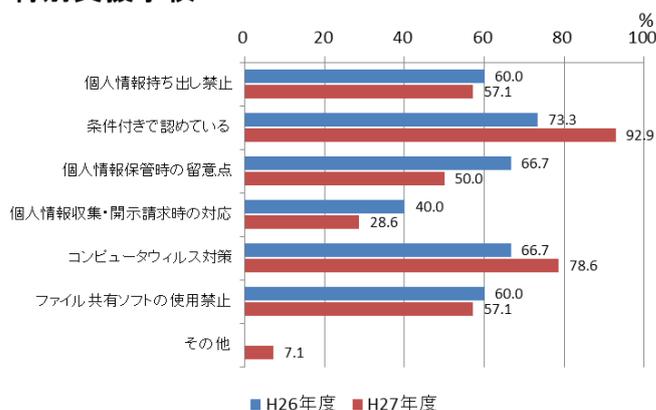
中学校



高等学校



特別支援学校



「個人情報の持ち出しを禁止」としている学校は小学校で約63%,中学校で約71%,高等学校で約44%,特別支援学校約57%である。また高等学校,特別支援学校では「条件付きで個人情報の持ち出しを認めている」はそれぞれ83%,93%と高い割合となっている。

「個人情報の開示請求への対応」は,小学校,中学校,高等学校で約20%程度,特別支援学校で約30%程度である。

(2)① 平成26年度，個人情報保護に関して，校内でどのように取り組みましたか。

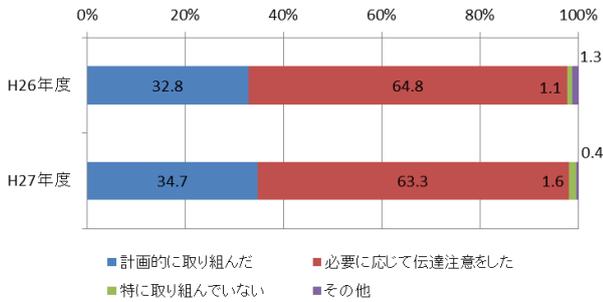
ア 校内研修等を通して，計画的に取り組んだ

イ 校内研修等を行っていないが，必要に応じて情報を伝達したり，注意を促したりした

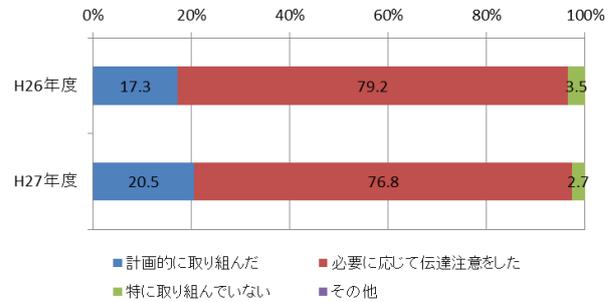
ウ 特に取り組んでいない エ その他

② ①で「エ その他」を選択した学校は，その内容をお答えください。

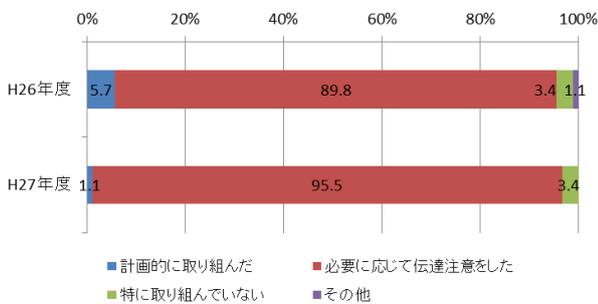
小学校



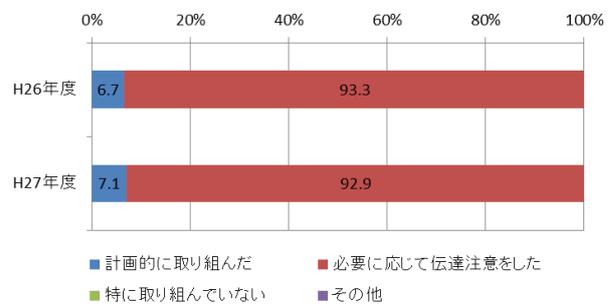
中学校



高等学校



特別支援学校



個人情報保護に関して，全校種で「研修等を行っていないが，必要に応じて情報を伝達したり，注意を促したりした」といった回答が大半である。

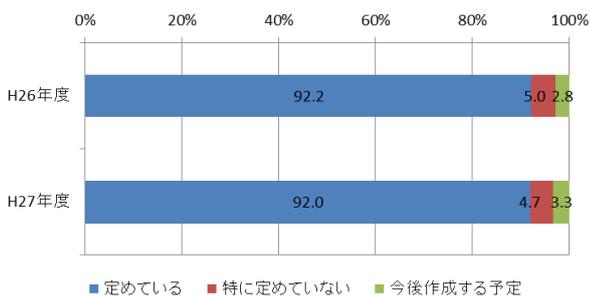
(3)① 平成26年度末において，情報セキュリティに関する校内運用規定を定めていますか。

ア 定めている

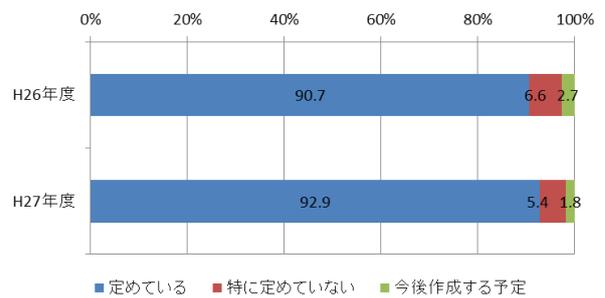
イ 特に定めていない

ウ 現在は定めていないが，今後作成する予定

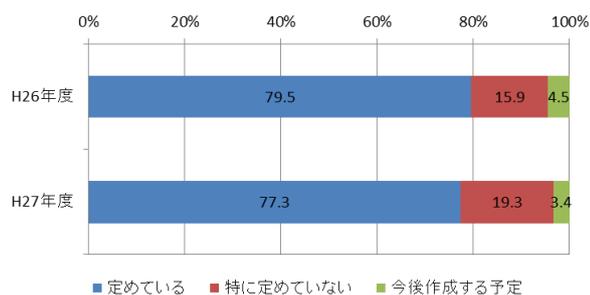
小学校



中学校



高等学校



特別支援学校



情報セキュリティに関する校内運用規定については、小学校・中学校・特別支援学校の90%以上の学校が、また高等学校については約80%が「定めている」または「現在は定めていないが、今後作成する予定」と回答している。

(3)② ①で「ア 定めている」を選択した学校は、「私物パソコン」及び「USBメモリ等の記憶媒体」の校内ネットワークでの使用及び接続について、規定している内容をお答えください。

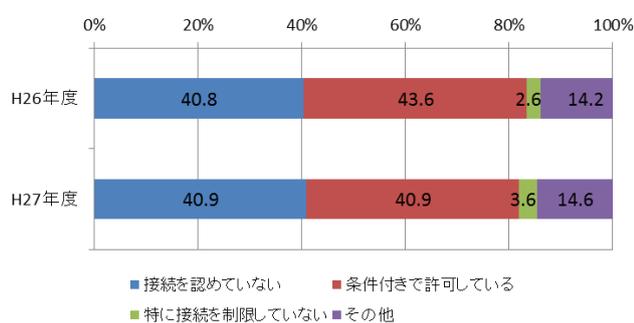
ア セキュリティ対策上、接続を認めていない

イ 条件付き（管理職の許可やセキュリティ対策実施済み等）で許可している

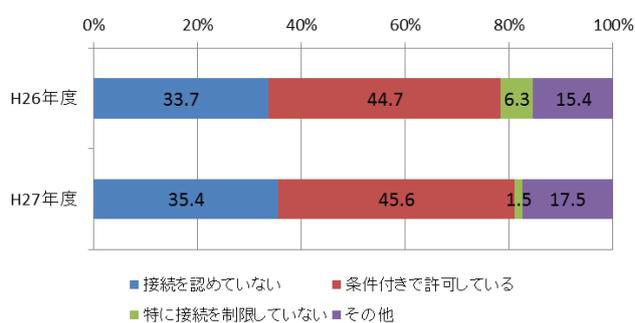
ウ 特に接続を制限していない エ その他

③ ②で「エ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

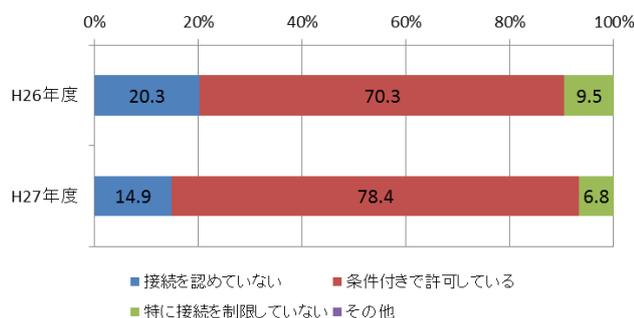
小学校



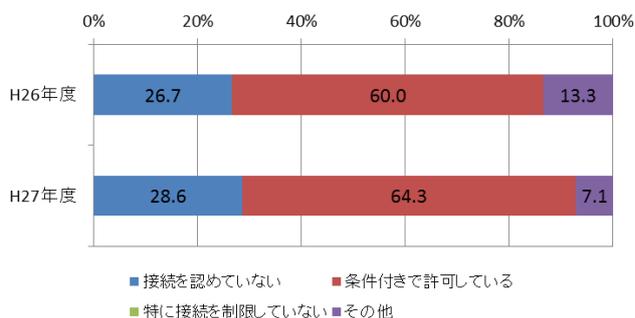
中学校



高等学校



特別支援学校



私物パソコン・USBメモリ等の接続については、小学校、中学校で「条件付きで接続を認めている」が約40%であるのに対し、高等学校では約80%、特別支援学校では約65%と開きがある。

「エ その他」の主な記述は以下のとおりである。

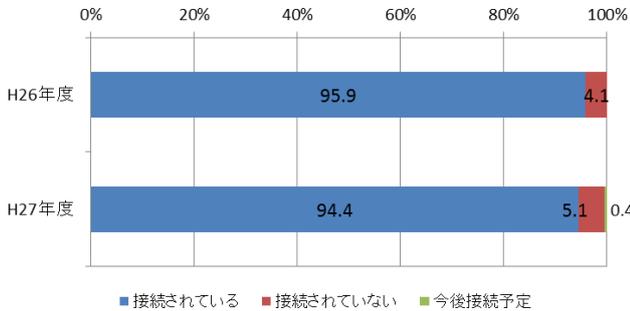
- ・ 私物PCの持ち込みは禁止しているが、USBメモリの使用については特に制限していない。(83校)
- ・ 私物PCの持ち込みは禁止しているが、USBメモリの使用についてはウイルスチェックを行った後、使用可能としている。(3校)
- ・ 私物PCの持ち込みは禁止しているが、USBメモリは公用のものを準備して使用している。(2校)
- ・ 私物PCの持ち込みは禁止しているが、USBメモリは公用のものを準備して校内のみで使用可能としている。(2校)

6 教員用コンピュータの校内ネットワーク（LAN）環境について

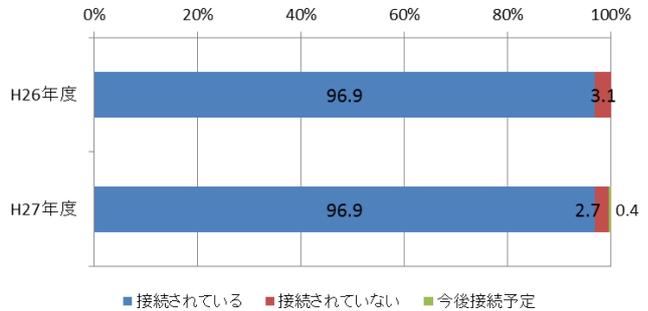
(1)① 学校内で、教員用コンピュータはLAN接続されていますか。

ア 接続されている イ 接続されていない ウ 接続されていないが、接続予定

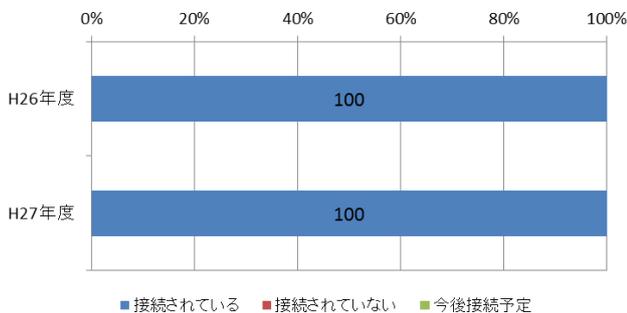
小学校



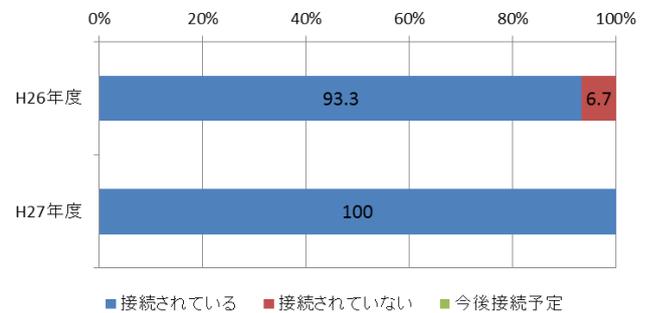
中学校



高等学校



特別支援学校



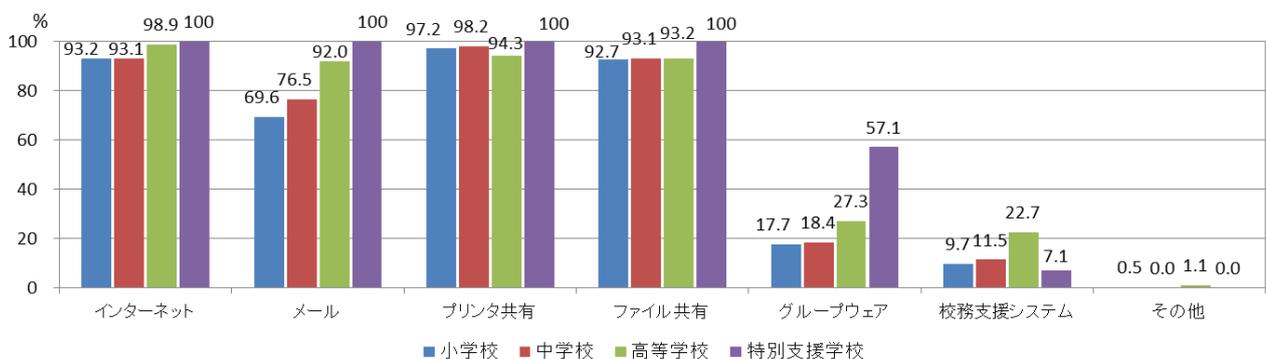
教員用コンピュータのLAN接続率については県立学校が100%であり、小学校、中学校では約95%である。

(1)② ①で「ア 接続されている」を選択した学校のみ、お答えください。校内LANで利用している機能をお答えください。（複数回答可）

ア インターネット イ メール ウ プリンタの共有 エ ファイル共有
オ グループウェア（校内掲示板等） カ 校務支援システム キ その他

③ ②で「キ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

校内LANで利用している機能

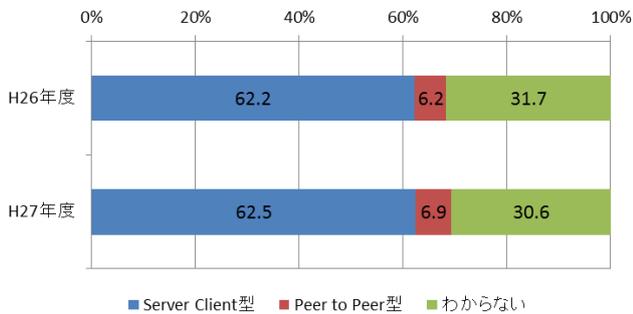


校内LANにおいて使用している機能では、全校種ともに「インターネット」、「プリンタの共有」、「ファイル共有」が多い。小学校、中学校において「メール」機能があまり利用されていないのは、メールアカウントの配付状況が各自治体によって異なるためと考えられる。また、特別支援学校では他校種と比較して「グループウェア」の活用が多い。

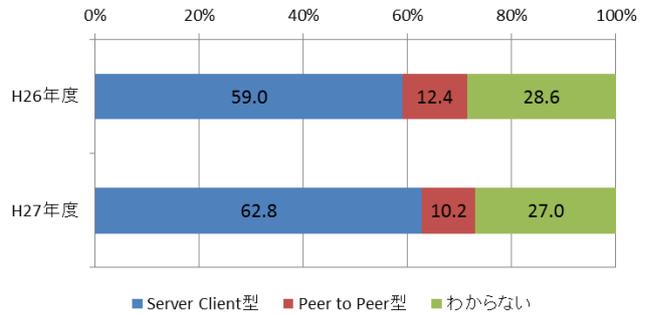
(1)④ ①で「ア 接続されている」を選択した学校のみ、お答えください。教員用コンピュータのネットワーク形態をお答えください。

ア Server Client型 イ Peer to Peer型 ウ 分からない

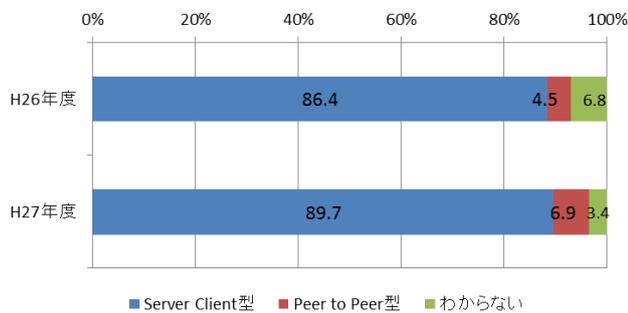
小学校



中学校



高等学校



特別支援学校



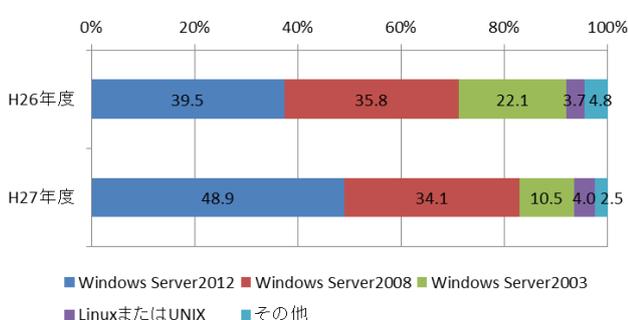
教員用コンピュータのネットワーク形態では、高等学校の約90%が「Server Client型」を導入している。特別支援学校においては「Server Client型」の導入率が100%である。

(1)⑤ ④で「ア Server Client型」を選択した学校のみ、お答えください。サーバ機の基本ソフトウェア（OS）をお答えください。（複数回答可）

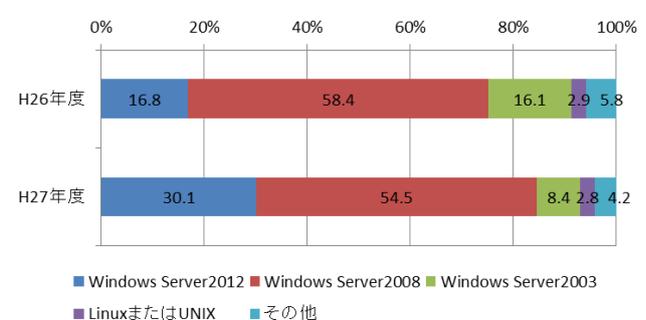
ア Microsoft Windows Server2012 イ Microsoft Windows Server2008
ウ Microsoft Windows Server2003 エ LinuxまたはUNIX オ その他

⑥ ⑤で「オ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

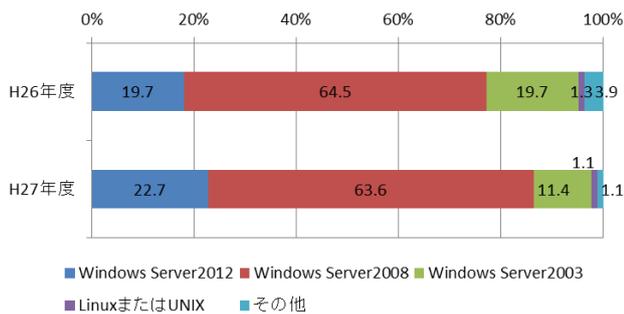
小学校



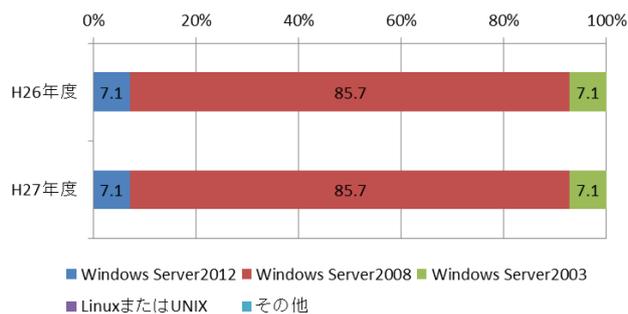
中学校



高等学校



特別支援学校



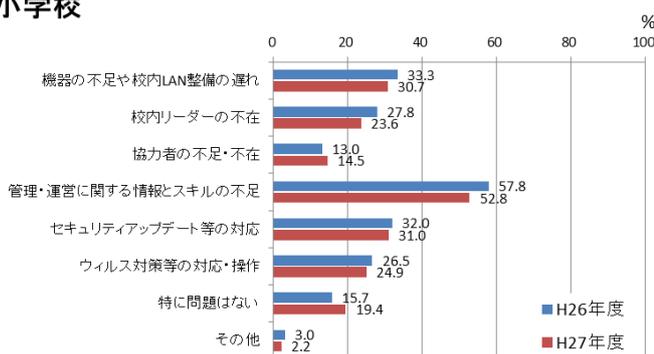
教員用ネットワークのサーバ機については、小学校において「Windows Server2012」が約半数を占めている。その他の校種では「Windows Server2008」が多数である。

(2) ① 校内ネットワークを管理・運営する際の課題はどのようなことですか。(複数回答可)

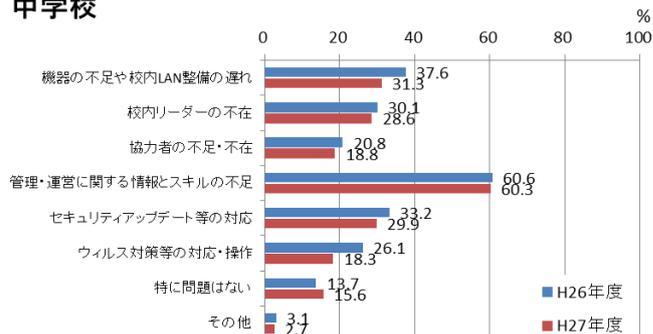
- ア 機器の不足や校内LANの整備の遅れ イ 校内リーダーの不在 ウ 協力者の不足・不在
 エ 管理・運営に関する情報とスキルの不足 オ セキュリティアップデート等の対応
 カ ウィルス対策等の対応・操作 キ 特に問題はない ク その他

② ①で「ク その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

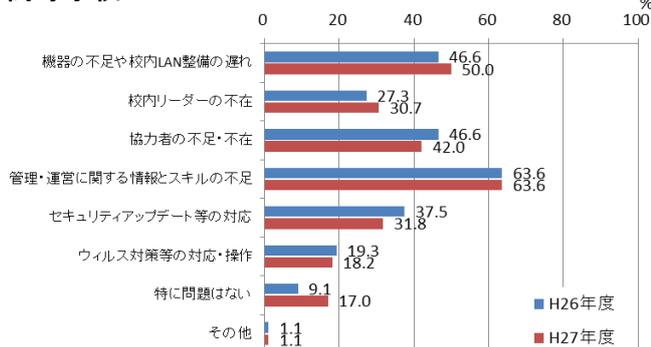
小学校



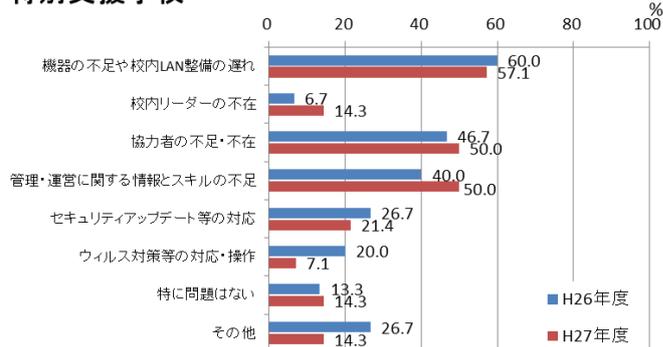
中学校



高等学校



特別支援学校



校内ネットワークの管理・運営上の問題としては、全校種ともに「管理・運営に関する情報とスキル不足」が上位となっている。また、高等学校、特別支援学校では、「機器の不足や校内LANの整備」、「協力者の不足・不在」も多い。

「ク その他」の主な記述は以下のとおりである。

- ・運用管理の作業に時間がかかり，担当者の負担が大きくなる。(6校)
- ・メンテナンス等，業者委託しているので復旧までに時間がかかる。(2校)